

Nikon



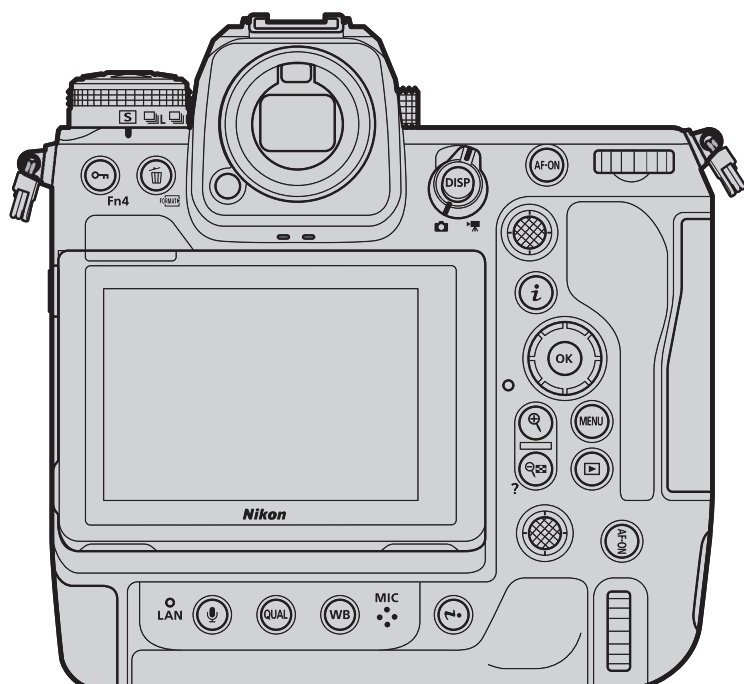
Z 9

Professional

設定ガイド

– 動画編 –

Revision 1.0



ファームウェアバージョンについて

この設定ガイドは、カメラのファームウェアバージョンが C:2.xx であることを前提に説明しています。

ファームウェアバージョンについて

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー [ファームウェアバージョン] で行えます。カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- **スマートフォンをお使いの場合**：SnapBridge アプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridge アプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

ファームウェア C:2.xx による動画機能の変更点

カメラのファームウェアが C:2.xx の場合、C:1.xx と比較して次の変更があります。ここでは動画に関連した機能だけを抜粋しています。

■ 動画撮影時の撮影画面

- 動画記録時に撮影画面の周囲に赤枠が表示 (□6、65)

■ 保存に関する設定

- 動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] に RAW 動画の追加 (□20)

■ 画質に関する設定

- 動画撮影メニュー [動画の画質 (N-RAW)] の追加 (□24)
- 動画撮影メニュー [オーバーサンプリングの拡張] の追加 (□26)

■ 露出に関する設定

- カスタムメニュー g9 [シャッタースピード延長 (M モード)] の追加 (□41)

■ フォーカスに関する設定

- AF エリアモードに [ワイドエリア AF (C1)]、[ワイドエリア AF (C2)] が追加 (□43)
- カスタムメニュー a14 [フォーカスポイントの移動速度] の追加 (□47)

■ 操作や表示に関する設定

- カスタムメニュー g1 [i メニューのカスタマイズ] に [動画情報表示] が追加 (□57)
- カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で機能を割り当てられるボタンおよび機能の追加 (□58)
- カスタムメニュー g8 [ISO 感度ステップ幅拡張 (M モード)] の追加 (□61)
- カスタムメニュー g14 [輝度情報の種類] の追加 (□63)
- カスタムメニュー g15 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)] および g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] の設定項目 [ヒストグラム] が [輝度情報] に変更 (□64)
- カスタムメニュー g17 [動画撮影中の赤枠表示] の追加 (□65)
- セットアップメニュー [自動電源 OFF 温度] の追加 (□66)

ファームウェアバージョンについて

■ 外部機器への HDMI 出力に関する設定

- セットアップメニュー [HDMI] > [出力解像度] の項目に [1080i (インターレース)] の追加 (☞[68](#))

■ 動画再生時の機能

- 動画再生一時停止時の **i** メニューに [フレームを連続保存] の追加 (☞[75](#))

設定ガイドの本文中では、変更 / 追加があった項目に **UPDATE** アイコンを表示しています。

目次

ファームウェアバージョンについて	2	● 電子手ブレ補正	37
● ファームウェアバージョンについて	2	露出に関する設定	38
● ファームウェア C:2.xx による 動画機能の変更点	2	● 撮影モード	38
		● 露出補正	39
		● アクティブ D-ライティング	40
		● 動画フリッカー低減	40
		● 測光モード	41
		● UPDATE シャッタースピード延長 (Mモード)	41
■ 撮影前の準備		フォーカスに関する設定	42
動画撮影のフロー	6	● フォーカスモード	42
動画撮影でよく使用するボタンやダイヤル	9	● AF エリアモード	43
動画撮影時の撮影画面について	11	● AF 時の被写体検出設定	44
● 情報表示について	11	● フォーカスポイント表示	46
● 動画モード時の表示切り換え	12	● フォーカスピーキング	47
		● UPDATE フォーカスポイントの移動速度	47
		● AF エリアモードの限定	48
		● フォーカスモードの制限	48
		● AF 速度	48
		● AF 追従感度	49
		● フォーカス位置の記憶	49
■ 撮影の設定		録音に関する設定	50
動画撮影時の設定方法について	16	● マイク感度	50
● i ボタン	16	● アッテネーター	51
● 動画で使用する各種ボタン	17	● 録音帯域	51
● 動画撮影メニュー	18	● 風切り音低減	51
		● マイク端子のプラグインパワー	52
		● ヘッドホン音量	52
保存に関する設定	19		
● 動画記録先	19		
● 動画記録ファイル形式	20		
画質に関する設定	22		
● 画像サイズ/フレームレート	22		
● UPDATE 動画の画質 (N-RAW)	24		
● 撮像範囲設定	25		
● UPDATE オーバーサンプリングの拡張	26		
● ISO 感度	27		
● ホワイトバランス	28		
● ピクチャーコントロール	31		
● HLG 画質調整	34		
● 高感度ノイズ低減	34		
● ヴィネットコントロール	35		
● 回折補正	35		
● 自動ゆがみ補正	35		
● 手ブレ補正	36		

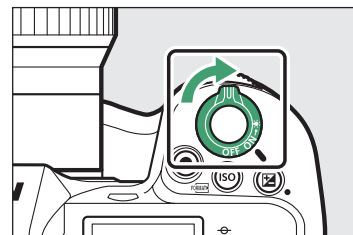
操作や表示に関する設定.....	53	■ 動画の再生	
● タイムコード.....	53	動画再生時の操作方法	73
● フォーカス回転方向の変更	54	● コマンドダイヤルを使用した操作方法	73
● フォーカスリングの角度設定	54	動画からの静止画切り出し	74
● コントロールリングの感度	55	● 1 フレームずつ保存する.....	74
● i メニューのカスタマイズ	55	● UPDATE 指定した秒数分のフレームを 保存する	75
● カスタムボタンの機能.....	58	1 コマ再生時のフリック操作	76
● 操作のロック	60	フィルター再生.....	77
● UPDATE ISO 感度ステップ幅拡張 (M モード).....	61	■ 付録	
● ビューアシスト	61	トラブルシューティング	78
● ゼブラ表示.....	62	● 記録時に発生しやすい現象について	78
● ガイドラインの種類.....	63	● 撮影中の動画の保存について	78
● UPDATE 輝度情報の種類.....	63		
● 撮影画面カスタマイズ.....	64		
● UPDATE 動画撮影中の赤枠表示	65		
● UPDATE 自動電源 OFF 温度.....	66		
● モニターモード	67		
外部機器への HDMI 出力に関する設定	68		
● HDMI.....	68		
● 外部記録制御 (HDMI)	72		

動画撮影のフロー

1 撮影前の準備をする

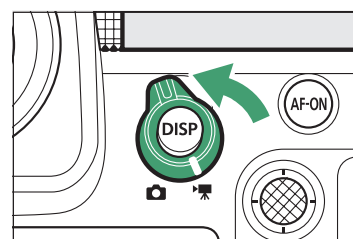
動画を撮影する前にカメラの各部名称を確認し、カメラにバッテリーとメモリーカードを入れてください。

- 長時間撮影する場合は、付属の本体充電 AC アダプター EH-7P または別売の AC アダプターのご使用をおすすめします。また、USB 給電も可能です。詳しくはニコンダウンロードセンターの Z 9 製品ページ (https://downloadcenter.nikonimglib.com/ja/products/589/Z_9.html) からダウンロードできる「活用ガイド」のセットアップメニュー [USB 給電] をご覧ください。
- カメラの準備ができれば、電源を ON にしてください。



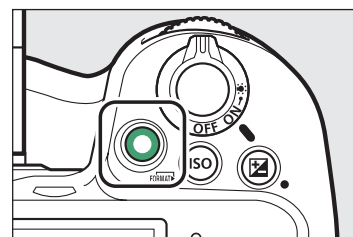
2 静止画 / 動画セレクターを **▶** に合わせて動画モードにする

動画撮影が可能になります。動画撮影の各種設定を行います。

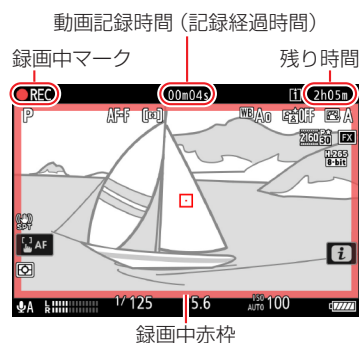


3 動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を始める

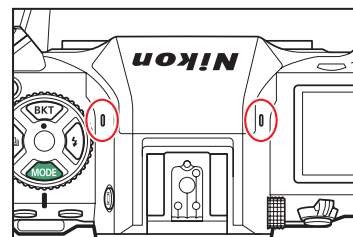
- 動画撮影ボタンを押して、撮影を始めます。
- 動画記録の開始はカスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で他のボタンに割り当てすることも可能です (☞58)。



- 動画記録中は、録画中マークが表示され、撮影画面の周囲に赤枠が表示されます。メモリーカードに撮影できる残り時間の目安も撮影画面で確認できます。



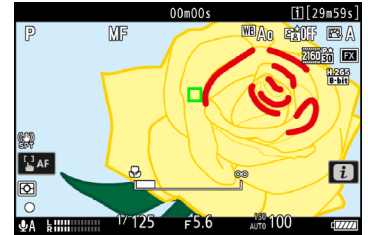
- 内蔵の動画用マイクで音声を記録します。動画記録中は、動画用マイクを指でふさがないようにしてください。



4 必要に応じて被写体にピントを合わせる

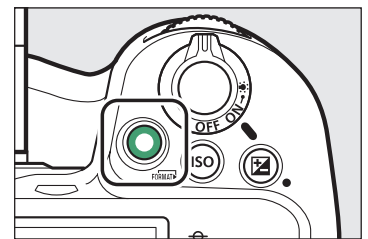
動画モードでのフォーカスモードの初期設定は **AF-F** です。カメラは常に被写体の動きや構図の変化に合わせてピントを合わせ続けるため、特にピント合わせを行う必要はありません。

- ピントを合わせる被写体を変更したい場合、画像モニターにタッチすると、タッチした位置にフォーカスポイントを移動してピント合わせを行います。マルチセレクターでフォーカスポイントを移動すると、フォーカスポイントの位置で自動的にピント合わせを行います。
- フォーカスモードを **AF-S** または **AF-C** に設定している場合、**AF-ON** ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてもピントを合わせられます。
- フォーカスモードを **MF** に設定している場合、レンズのフォーカスリングまたはコントロールリングを回して、被写体にピントを合わせます。カスタムメニュー a13 [フォーカスピーキング] > [フォーカスピーキング表示] を [ON] に設定すると、ピントが合っている部分 (ピーキング) の輪郭に色を付けて表示できます。



5 動画撮影ボタンを押して、動画の撮影を終了する

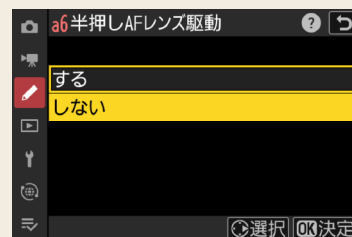
もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了します。



動画撮影のフロー

✓ 動画撮影ボタン以外のボタンで動画記録の開始 / 終了を行う

- カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で [動画撮影] を割り当てると、任意のボタンで動画記録の開始および終了が行なえます。[動画撮影] を割り当てられるボタンは次の通りです (☞58)。
 - フォーカスモードボタン
 - シャッターボタン
 - **AF-ON** ボタン
 - サブセレクター中央
 - **OK** ボタン
 - 縦位置 **AF-ON** ボタン
 - 縦位置マルチセレクター中央
- シャッターボタンに [動画撮影] を割り当てた場合、動画記録開始時にピント合わせを行いたくないときは、カスタムメニュー a6 [半押し AF レンズ駆動] を [しない] に設定してください。



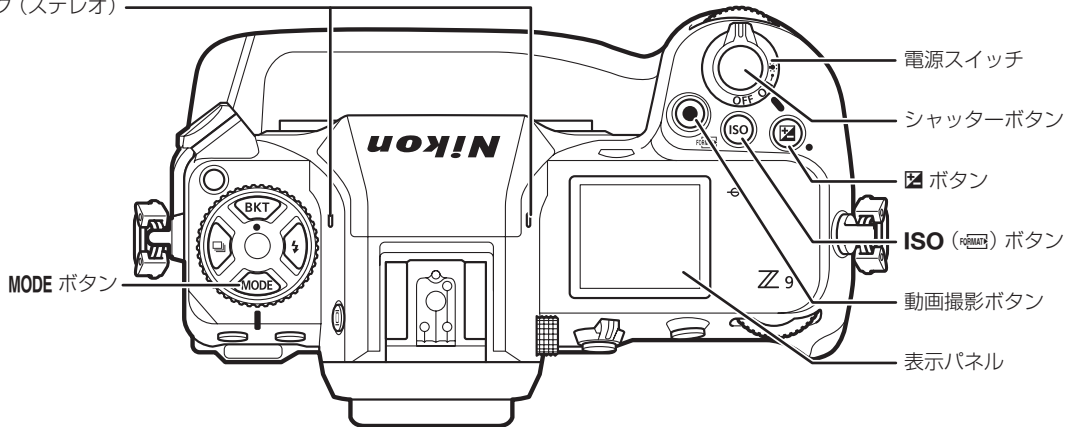
✓ リモコンを使って動画記録の開始 / 終了を行う

別売のリモートコード MC-36A などシャッターボタンのあるアクセサリを接続し、カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] > [シャッターボタン] に [動画撮影] を割り当てると、アクセサリのシャッターボタンで動画記録の開始および終了が行えます。



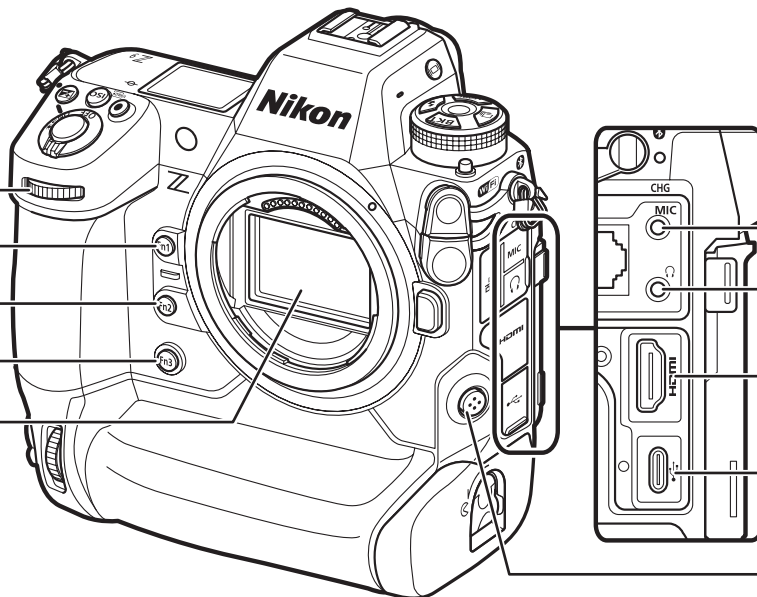
動画撮影でよく使用するボタンやダイヤル

動画用マイク (ステレオ)



サブコマンドダイヤル

Fn1 ボタン
Fn2 ボタン
Fn3 ボタン
イメージセンサー
(撮像素子)



外部マイク入力端子
ヘッドホン出力端子
HDMI 端子
USB 端子
フォーカスモードボタン

Fn (Fn4) ボタン

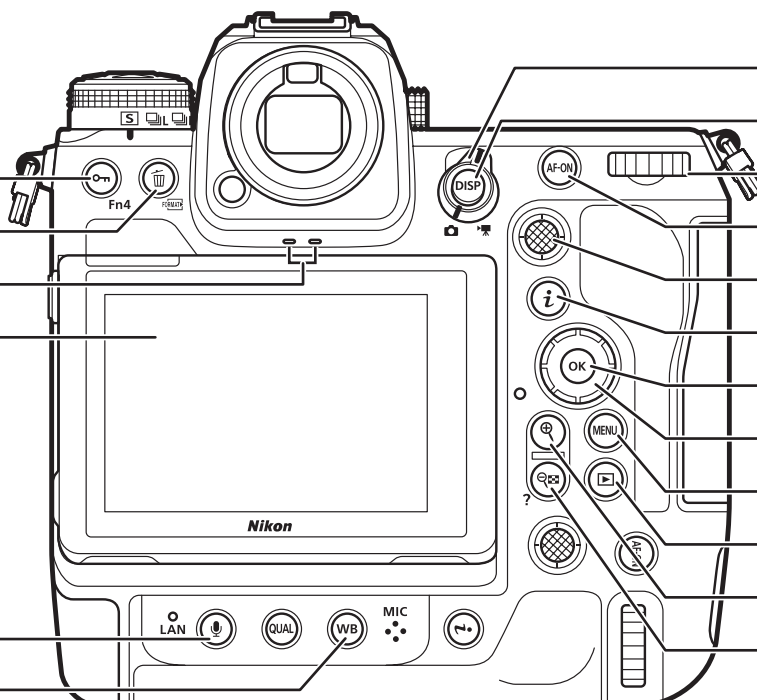
🗑️ (POWER) ボタン

スピーカー

画像モニター

🎤 ボタン

WB ボタン



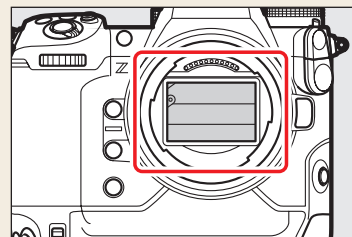
静止画 / 動画セレクター
DISP ボタン
メインコマンドダイヤル
AF-ON ボタン
サブセレクター
i ボタン
OK ボタン
マルチセレクター
MENU ボタン
▶ ボタン
🔍 ボタン
🔍 (?) ボタン

動画撮影でよく使用するボタンやダイヤル

✔ イメージセンサー（撮像素子）のゴミの付着を防ぐ


特に動画の場合、画像にゴミが付着していると後工程に大きな影響が出ます。このため、レンズ交換時などカメラの電源を OFF にするときにはセンサーシールドを閉じておくことをおすすめします。センサーシールドを閉じるには、セットアップメニュー [電源 OFF 時のセンサーシールド] を [閉じる] に設定してください。

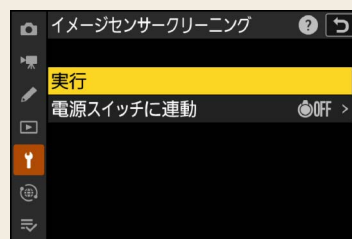
- カメラの電源を ON にしてから操作ができるようになるまで時間がかかることがあります。
- 閉じているセンサーシールドに触れると、故障の原因になります。
- レンズ交換をする場合、カメラとレンズのマウントが真っ直ぐになるように取り付けてください。レンズを傾けて装着しようとすると、センサーシールドに接触してセンサーシールドやイメージセンサーが破損する恐れがあります。



✔ 撮像素子のお手入れについて

セットアップメニュー [イメージセンサークリーニング] でイメージセンサークリーニングを作動させると、撮像素子前面のゴミをふり落とすことができます。

- [実行] を選んで  ボタンを押すと、イメージセンサークリーニングが開始されます。イメージセンサークリーニング実行中は、カメラの操作はできません。バッテリーや AC アダプターを取り外さないでください。
- [電源スイッチに連動] > [電源 OFF で実行] を選ぶと、カメラの電源 OFF と同時にイメージセンサークリーニングが作動します。イメージセンサークリーニングが作動しているときにカメラを操作すると、イメージセンサークリーニングは中断します。
- イメージセンサークリーニングを連続して行くと、内部の回路を保護するため、一時的に作動しなくなる場合があります。少し時間をおくと再び作動するようになります。
- イメージセンサークリーニングでゴミやほこりを取りきれないときは、ニコンサービス機関にクリーニングをお申し付けくださることをおすすめします。

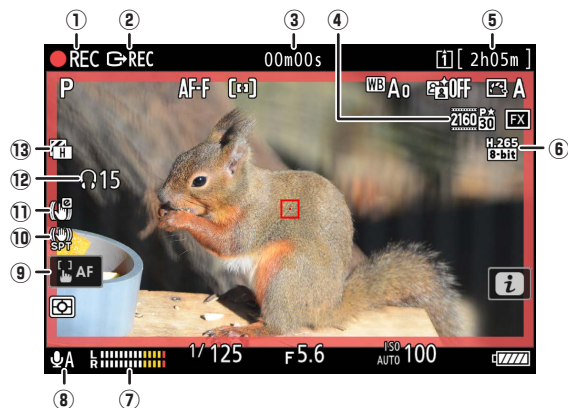


動画撮影時の撮影画面について

動画撮影時は、実際に撮影される動画や静止画の露出（明るさ）を画像モニターまたはファインダーで確認できます。本書では主に画像モニターで表示の説明をしています。

情報表示について

動画撮影時に表示される画面のアイコンの意味は次の通りです。

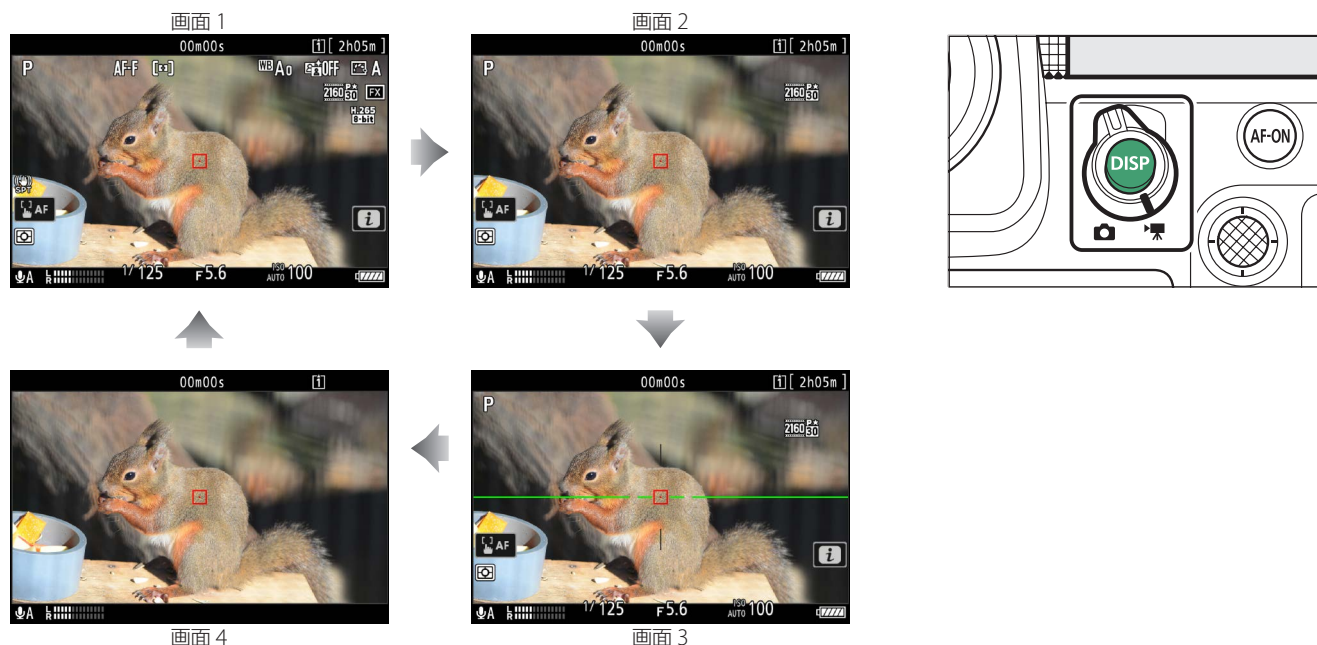


① 録画中マーク	動画記録中に表示されます。動画が記録できない状態の場合は、動画記録禁止マーク (REC) が表示されます。
② 外部記録制御	HDMI 対応機器と接続して同期記録を行うときに表示されます (□72)。
③ 動画記録時間	撮影開始からの経過時間を表示します。
④ 画像サイズ / フレームレート	動画を記録するときの画像サイズ (ピクセル) とフレームレートを表示します (□22)。
⑤ 動画記録残り時間	動画記録時に、メモリーカードに記録できる残り時間を表示します (□19)。
⑥ 動画記録ファイル形式	動画の記録ファイル形式を表示します (□20)。
⑦ 音声レベルインジケータ	音声を記録するときの音量レベルを表示します。インジケータの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。
⑧ マイク感度	マイク感度 (□50) のレベルを表示します。
⑨ タッチ撮影機能	タッチ AF の有効 / 無効を切り換えます。 <ul style="list-style-type: none">● [AF タッチ AF] を有効にすると、タッチした位置にフォーカスポイントを移動して、ピント合わせを行います。● [フォーカスポイント移動] を有効にすると、タッチした位置にフォーカスポイントを移動します。
⑩ 手ブレ補正	手ブレ補正の設定を表示します (□36)。
⑪ 電子手ブレ補正マーク	電子手ブレ補正 (□37) が有効の場合に表示します。
⑫ ヘッドホン音量	市販のヘッドホン接続時に表示されます。ヘッドホン出力の音量レベルを表示します。
⑬ ゼブラ表示	指定した明るさの部分を斜線で表示できます (□62)。

動画撮影時の撮影画面について

動画モード時の表示切り換え

DISP ボタンを押すたびに撮影画面の表示を切り替えられます。切り替える画面の種類の数や、それぞれの画面で表示する項目はカスタムメニュー g15 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)] または g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] で変更できます (☞64)。



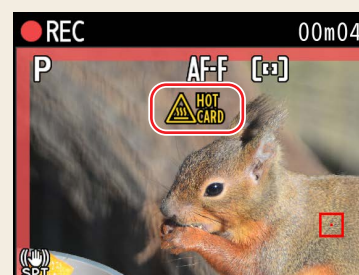
⚠ 温度上昇警告について

- カメラ内部の温度が上昇すると、温度上昇警告が表示され、カウントダウンが表示されます。
- 温度上昇警告が表示されても、すぐには動画の撮影は中断されませんが、カウントダウンが0になると撮影画面の表示が消灯し、記録中の動画を保存してカメラの電源が自動的にオフになります。
- 消灯する 30 秒前から赤字で表示されます。撮影条件によっては、電源を ON にした後すぐにカウントダウンが始まる場合があります。
- カメラ内部の温度上昇により撮影画面の表示が消灯したときは、電源を OFF にしてください。カメラの温度を下げるときは、直射日光が当たらないように日傘やタオルをお使いになることをおすすめします。
- セットアップメニュー [自動電源 OFF 温度] でカウントダウンを行う温度を [標準] または [高] で設定できます (☞66)。



⚠ メモリーカード高温の注意表示について

- メモリーカードが高温になると、撮影画面にメモリーカード高温の注意表示が表示される場合があります。その場合は、温度が下がって表示が消えるまでカメラ本体やメモリーカードに触らないでください。
- メモリーカード高温注意表示が表示されても、動画の撮影は中断されません。カメラの電源が自動的にオフになることはなく、カウントダウンも表示されません。



■ 画面に表示する項目について

画面に表示する項目はカスタムメニュー g15 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)] または g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] で変更できます。詳しくは「[撮影画面カスタマイズ](#)」(P.64) をご覧ください。表示できる項目は次の通りです。

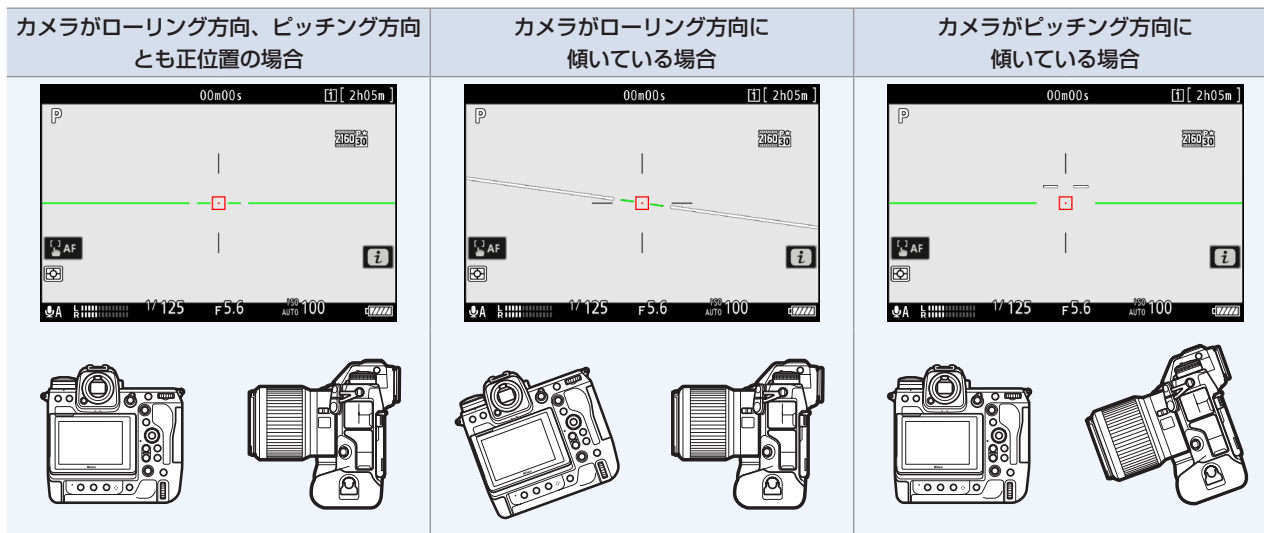
SIMPLE [基本撮影情報]	撮影モードやシャッタースピード、絞り値などの設定を表示します。	
DETAIL [詳細撮影情報]	フォーカスモードや AF エリアモード、ホワイトバランスなどの設定を表示します。	
 [タッチ]	タッチ AF や i メニューなど、画像モニターをタッチして設定を変更できる項目を表示します。 ● g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] では設定できません。	
 [水準器]	水準器を表示します。水準器の種類はカスタムメニュー d17 [水準器の種類] で設定できます。	
 [輝度情報] UPDATE	RGB ヒストグラムまたはウェーブフォームモニターを表示します。輝度情報の種類は g14 [輝度情報の種類] で設定できます。	
 [ガイドライン]	構図用ガイドラインを表示します。	
 [センターマーカー]	撮影画面の中央を示す十字線を表示します。	

動画撮影時の撮影画面について

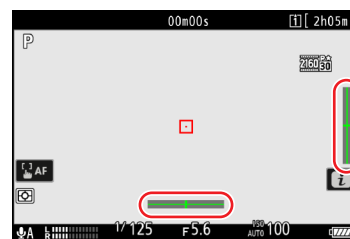
■ 水準器表示について

撮影画面に水準器を表示させることで、カメラが水平になっているかを撮影しながら確認できます。三脚にセットしたカメラを水平に設置したい場合などに便利です。初期設定では **DISP** ボタンを押して画面3の表示に切り替えると水準器が表示されます。

- カメラを正位置（傾きのない状態）にすると、基準線が緑色に変わります。



- 表示する水準器の種類はカスタムメニュー d17 [水準器の種類] で変更できます。
[Type B] に設定すると、画面下部にローリング方向の水準器を、画面右部にピッチング方向の水準器を表示します。






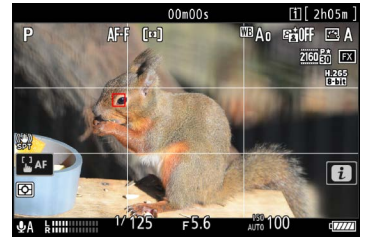
⚠ 水準器の精度について

カメラを前または後ろに大きく傾けると、水準器の誤差が大きくなりますのでご注意ください。測定できない状態までカメラを傾けると、水準器の目盛が消灯します。


■ 表示を一時的に切り換える





カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で任意のボタンに画面表示に関する機能を割り当てられます。

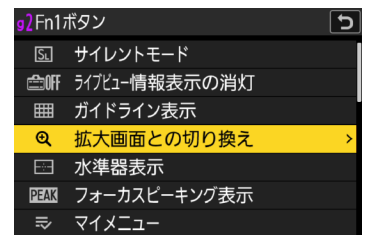
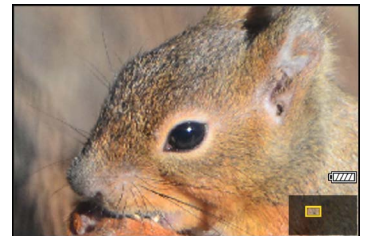
-  [ライブビュー情報表示の消灯]：ボタンを1回押すと撮影画面のアイコンや撮影情報を非表示にします。もう一度ボタンを押すと、アイコンや撮影情報が表示されます。
-  [ガイドライン表示]：ボタンを1回押すと、撮影画面に構図用ガイドラインを表示します。もう一度ボタンを押すと、ガイドラインの表示を終了します。表示するガイドラインの種類はカスタムメニュー g13 [ガイドラインの種類] で選べます。
-  [水準器表示]：ボタンを1回押すと、撮影画面に水準器を表示します。もう一度ボタンを押すと、水準器の表示を終了します。表示する水準器の種類はカスタムメニュー d17 [水準器の種類] で選べます。



■ 拡大表示について

動画モード時に  ボタンを押すと、フォーカスポイントを中心にして拡大表示します (最大約 16 倍)。

-  ボタンを押すごとに拡大率が上がり、 (?) ボタンを押すごとに拡大率が下がります。
- 拡大表示時は、画面の右下に構図のどの部分を拡大しているかを表すナビゲーションウィンドウが表示されます。
- 拡大表示時は、マルチセレクターを操作すると、見たい部分に移動できます。
- 動画記録中は  ボタンを押すと 50%、100% (等倍)、200% 拡大して表示します。 (?) ボタンを押すと拡大率が下がります。
- 動画の画像サイズを 1920 × 1080 に設定している場合、50% の拡大表示はできません。
- RAW 動画撮影時は拡大表示できません。
- 動画再生中は、動画を一時停止すると拡大表示できます。
- カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で任意のボタンに [拡大画面との切り換え] を割り当てると、動画モード時に割り当てたボタンでフォーカス部分を拡大することができます。拡大率は [低倍率 (50%)]、[等倍 (100%)]、[高倍率 (200%)] から選べます。



動画撮影時の設定方法について

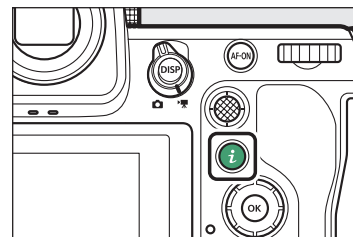
動画撮影の設定を変更するためには、**i** ボタンを使う方法、機能を割り当てられているボタンを使う方法、動画撮影メニューを使う方法の3つがあります。

i ボタン

- 静止画 / 動画セレクターを **▶** に合わせて **i** ボタンを押すか画像モニターの **i** をタッチすると、動画の **i** メニューが表示されます。

項目	📖
[ピクチャーコントロール]	📖31
[ホワイトバランス]	📖28
[画像サイズ / フレームレート]	📖22
[マイク感度]	📖50
[AF エリアモード / 被写体検出]	📖43、44
[フォーカスモード]	📖42

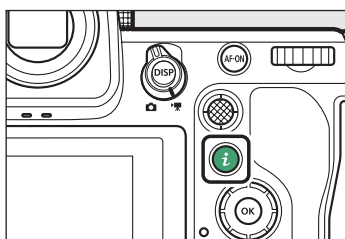
項目	📖
[電子手ブレ補正]	📖37
[手ブレ補正]	📖36
[撮影メニュー切り換え]	—
[カスタムボタンの機能]	📖58
[機内モード]	—
[動画記録先]	📖19



■ i ボタンでの設定方法

1 動画モード時に **i** ボタンを押す

- 設定できるメニューが表示されます。
- **i** ボタンを押したときの設定は、タッチ操作でも行えます。



2 設定したい項目を選んで **OK** ボタンを押す

- 設定項目が表示されます。



3 設定を **◀▶** で選び、**OK** ボタンを押す

- 設定が変更され、手順1の画面に戻ります。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



🔧 コマンドダイヤルで設定する

操作ガイドが表示される項目の場合、**i** メニュー上で項目にカーソルを置いてコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。項目によってはメインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルで設定する場合があります。



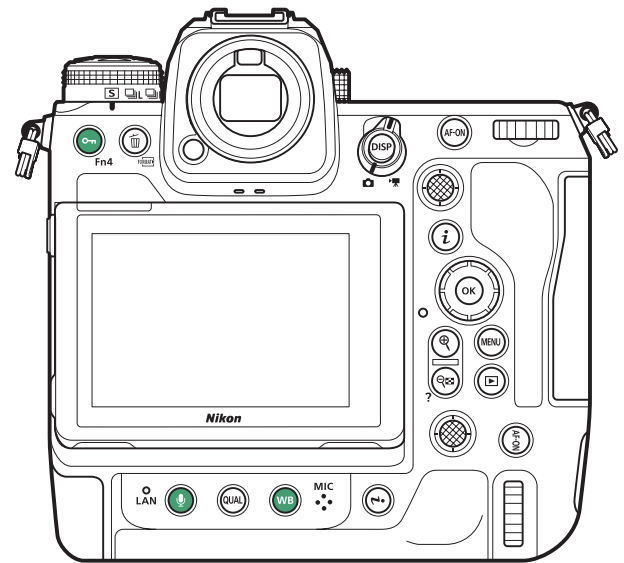
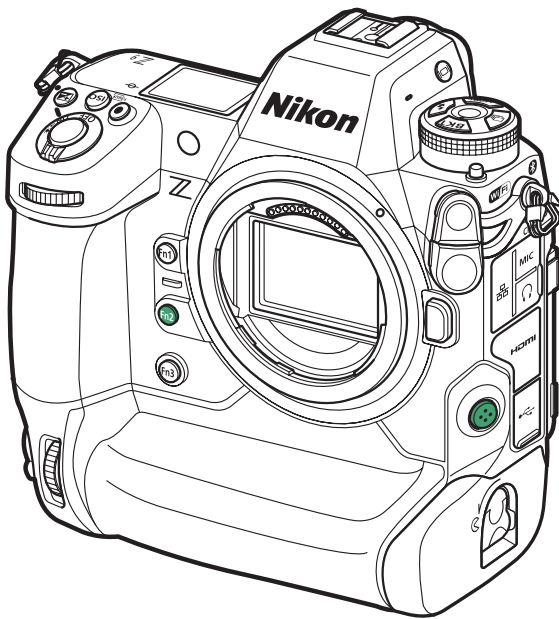
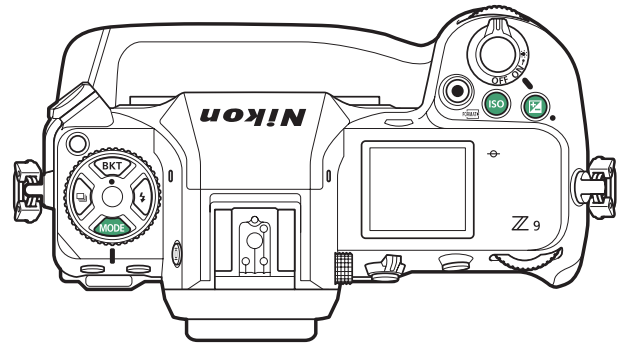
🔧 **i** メニュー項目のカスタマイズ

動画撮影時の **i** メニューで表示される項目は、カスタムメニュー g1 [**i** メニューのカスタマイズ] で変更できます ([📖55](#))。

動画で使用する各種ボタン

カメラのボタンを押して、動画撮影時の機能を設定できます。

ボタン	項目	📖
MODE ボタン	撮影モード	📖38
📷 ボタン	露出補正	📖39
ISO ボタン	ISO 感度	📖27
Fn2 ボタン	撮像範囲	📖25
フォーカスモードボタン	フォーカスモード、 AF エリアモード	📖42、43
🔑 (Fn4) ボタン	ピクチャーコントロール	📖31
🎤 ボタン	マイク感度	📖50
WB ボタン	ホワイトバランス	📖28



■ カスタムボタン

次のボタンにはカスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で動画撮影時の機能を割り当てられます。詳しくは「[カスタムボタンの機能](#)」(📖58)をご覧ください。

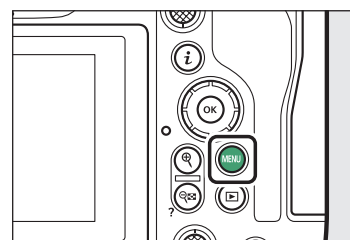
[Fn1 ボタン]	[縦位置 AF-ON ボタン]
[Fn2 ボタン]	[縦位置マルチセレクター中央]
[Fn3 ボタン]	[コマンドダイヤル]
[縦位置 Fn ボタン]	[シャッターボタン]
[フォーカスモードボタン]	[レンズの Fn2 ボタン]
[AF-ON ボタン]	[レンズの Fn ボタン]
[プロテクト /Fn4 ボタン]	[レンズのコントロールリング]
[OK ボタン]	[レンズの Fn リング (右回し)] UPDATE
[サブセレクター中央]	[レンズの Fn リング (左回し)] UPDATE
[QUAL ボタン]	[レンズのメモリーセットボタン] UPDATE
[音声ボタン]	



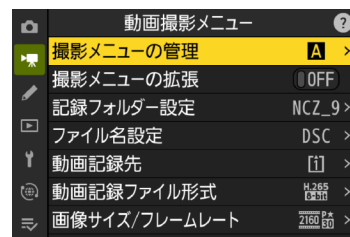
動画撮影時の設定方法について

動画撮影メニュー

MENU ボタンを押して、タブの **📷** アイコンを選ぶと、動画撮影メニューが表示されます。



メニュー項目	📖	メニュー項目	📖
[撮影メニューの管理]	—	[回折補正]	📖35
[撮影メニューの拡張]	—	[自動ゆがみ補正]	📖35
[記録フォルダー設定]	—	[動画フリッカー低減]	📖40
[ファイル名設定]	—	[測光モード]	📖41
[動画記録先]	📖19	[フォーカスモード]	📖42
[動画記録ファイル形式]	📖20	[AF エリアモード]	📖43
[画像サイズ/フレームレート]	📖22	[AF 時の被写体検出設定]	📖44
[動画の画質 (N-RAW)] UPDATE	📖24	[手ブレ補正]	📖36
[撮像範囲]	📖25	[電子手ブレ補正]	📖37
[オーバーサンプリングの拡張] UPDATE	📖26	[マイク感度]	📖50
[ISO 感度設定]	📖27	[アッテネーター]	📖51
[ホワイトバランス]	📖28	[録音帯域]	📖51
[ピクチャーコントロール]	📖31	[風切り音低減]	📖51
[カスタムピクチャーコントロール]	—	[マイク端子のプラグインパワー]	📖52
[HLG 画質調整]	📖34	[ヘッドホン音量]	📖52
[アクティブ D-ライティング]	📖40	[タイムコード]	📖53
[高感度ノイズ低減]	📖34	[外部記録制御 (HDMI)]	📖72
[ヴィネットコントロール]	📖34		



🔧 設定可能な方法について

本書では、そのページで説明している機能がどの方法で設定できるかを下のような表で表しています。設定可能な方法には「✓」、設定できない方法には「—」が表示されています。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓

- 「**i** ボタン」には、カスタムメニュー g1 [**i** **メニューのカスタマイズ**] で設定できる項目も含まれています ([📖55](#))。
- 「各種ボタン」には、カスタムメニュー g2 [**カスタムボタンの機能**] で設定できる項目も含まれています ([📖58](#))。

保存に関する設定

撮影した動画の保存に関する設定は次の通りです。

動画記録先

メモリーカードを 2 枚使用している場合に動画を記録するスロットを設定できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓

1 動画モードで **i** ボタンを押し、[動画記録先] を選んで **OK** ボタンを押す

- 設定項目が表示されます。
- **OK** ボタンを押す前にコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。



2 **左右** で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す

- それぞれのカードで動画を記録できる残り時間が表示されます。
- 選んだファイル記録先のメモリーカードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。
- 動画撮影時の順次記録およびバックアップ記録は非対応です。
- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



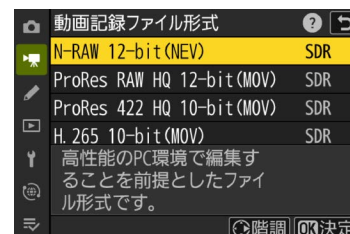
保存に関する設定

動画記録ファイル形式

動画のコーデックの種類およびファイル形式を選べます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] で設定できます。ファイル形式は NEV、MOV または MP4 から選べます。



項目	内容	階調モード	フレーム間 圧縮方式	音声記録方式	YCbCr/ Bayer
[N-RAW 12-bit (NEV)] UPDATE	業務用の動画編集で使用する高性能なパソコンで RAW 現像および編集を行うことを前提とした記録形式です。 ● 画像サイズ 1920 × 1080 の H.264 8-bit 動画をカメラでの再生用動画 (プロキシー動画) として同時に MP4 形式で記録します。	[SDR]	—	リニア PCM	Bayer
[ProRes RAW HQ 12-bit (MOV)] UPDATE		[N-Log]			
[ProRes 422 HQ 10-bit (MOV)]		[SDR]			
[ProRes 422 HQ 10-bit (MOV)]	映像編集に適した記録形式です。	[N-Log]	ALL-I		YCbCr (4:2:2)
[H.265 10-bit (MOV)]	業務用の動画編集で使用する高性能なパソコンで編集を行うことを前提とした記録形式です。	[SDR]	Long GOP	AAC	YCbCr (4:2:0)
[H.265 8-bit (MOV)]		[HLG]			
[H.265 8-bit (MOV)]	圧縮効率に優れた記録形式です。	[N-Log]			
[H.264 8-bit (MP4)]	再生の互換性が高い記録形式です。	[SDR]			

■ 階調モードについて

[N-RAW 12-bit (NEV)]、[ProRes RAW HQ 12-bit (MOV)]、[ProRes 422 HQ 10-bit (MOV)] または [H.265 10-bit (MOV)] を選んで を押し、階調モードを選べます。[H.265 8-bit (MOV)] および [H.264 8-bit (MP4)] の場合は [SDR] 固定です。

項目	内容
[SDR]	標準の明るさの幅 (ダイナミックレンジ) に対応した階調モードです。
[HLG]	HDR (High Dynamic Range) に対応した階調モードです。SDR に比べて広いダイナミックレンジを表現できます。 ● [動画記録ファイル形式] が [H.265 10-bit (MOV)] の場合のみ選べます。
[N-Log]	ニコン独自の Log 曲線を使用した階調モードです。広いダイナミックレンジでの撮影に適しています。ポストプロダクション工程で N-Log 用 3D LUT を適用することで、Rec. 709 の表示に対応したモニターで美しく見ることが出来る映像に仕上がります。

■ 動画の画質について **UPDATE**

[N-RAW 12-bit (NEV)] を選んだ場合、動画の画質を動画撮影メニュー [動画の画質 (N-RAW)] で設定できます。

■ RAW 動画について UPDATE

動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] を [N-RAW 12-bit (NEV)] または [ProRes RAW HQ12-bit (MOV)] に設定して撮影した動画を RAW 動画といいます。RAW 動画撮影時には、次の制限があります。

- 高感度 (Hi 0.3 ~ Hi 2.0) は設定できません。
- 動画撮影メニュー [アクティブ D-ライティング]、[高感度ノイズ低減]、[回折補正]、[電子手ブレ補正] は設定できません。
- 動画撮影メニュー [オーバーサンプリングの拡張]、[ピクチャーコントロール]、[ヴィネットコントロール] および [自動ゆがみ補正] は適用されません。
- カメラでの動画編集は行えません。
- HDMI 対応機器と接続時の出力解像度は、セットアップメニュー [HDMI] > [出力解像度] の設定にかかわらず最大 1920 × 1080 になります。

画質に関する設定

動画の画質に関する設定は次の通りです。

画像サイズ / フレームレート

動画を記録するときの画像サイズ (ピクセル) とフレームレートを設定します。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓

■ 画像サイズ / フレームレートの設定方法

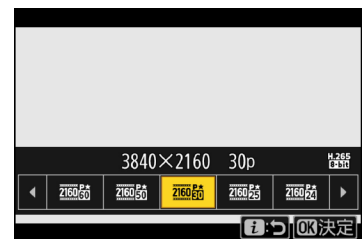
1 動画モードで **i** ボタンを押し、[画像サイズ / フレームレート] を選んで **OK** ボタンを押し

- 設定項目が表示されます。
- 選べる画像サイズは、動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] で選んだ動画の記録形式によって異なります。詳しくは下の表をご覧ください。
- **OK** ボタンを押し前にコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。



2 **OK** で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押し

- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押ししてください。



■ RAW 動画の画像サイズ / フレームレートについて

[[N-RAW 12-bit (NEV)] および [ProRes RAW HQ 12-bit (MOV)] を選んだ場合に設定できる [画像サイズ / フレームレート] は次の通りです。

項目	動画記録形式	
	N-RAW 12-bit	ProRes RAW HQ 12-bit
[[FX] 8256 × 4644 60p]	✓	—
[[FX] 8256 × 4644 50p]	✓	—
[[FX] 8256 × 4644 30p]	✓	—
[[FX] 8256 × 4644 25p]	✓	—
[[FX] 8256 × 4644 24p]	✓	—
[[FX] 4128 × 2322 120p]	✓	—
[[FX] 4128 × 2322 100p]	✓	—
[[FX] 4128 × 2322 60p]	✓	✓
[[FX] 4128 × 2322 50p]	✓	✓
[[FX] 4128 × 2322 30p]	✓	✓
[[FX] 4128 × 2322 25p]	✓	✓
[[FX] 4128 × 2322 24p]	✓	✓
[[DX] 5392 × 3032 60p]	✓	—
[[DX] 5392 × 3032 50p]	✓	—
[[DX] 5392 × 3032 30p]	✓	✓
[[DX] 5392 × 3032 25p]	✓	✓
[[DX] 5392 × 3032 24p]	✓	✓
[[2.3 ×] 3840 × 2160 120p]	✓	—
[[2.3 ×] 3840 × 2160 100p]	✓	—
[[2.3 ×] 3840 × 2160 60p]	—	✓
[[2.3 ×] 3840 × 2160 50p]	—	✓

- 動画撮影メニュー [撮像範囲] > [撮像範囲設定] の設定にかかわらず、「FX」がついた項目を選ぶと撮像範囲は [FX] に、「DX」がついた項目を選ぶと撮像範囲は [DX] に固定されます。「2.3 ×」がついた項目を選ぶと、FX フォーマットの焦点距離の約 2.3 倍に相当する画角になります。
- DX レンズを装着した場合は、自動的に DX ベースの（動画）フォーマットになります。「FX」がついた項目は選べません。

画質に関する設定

■ RAW 動画以外の画像サイズ / フレームレートについて

[ProRes 422 HQ 10-bit (MOV)]、[H.265 10-bit (MOV)]、[H.265 8-bit (MOV)] および [H.264 8-bit (MP4)] を選んだ場合に設定できる [画像サイズ / フレームレート] は次の通りです。

項目 ^{※1}	動画記録形式			
	ProRes 422 HQ 10-bit	H.265 10-bit	H.265 8-bit	H.264 8-bit
[7680 × 4320 30p] ^{※2, 3}	—		✓	—
[7680 × 4320 25p] ^{※2, 3}	—		✓	—
[7680 × 4320 24p] ^{※2, 3}	—		✓	—
[3840 × 2160 120p] ^{※2, 4}	—		✓	—
[3840 × 2160 100p] ^{※2, 4}	—		✓	—
[3840 × 2160 60p] ^{※4}	✓		✓	—
[3840 × 2160 50p] ^{※4}	✓		✓	—
[3840 × 2160 30p] ^{※4}	✓		✓	—
[3840 × 2160 25p] ^{※4}	✓		✓	—
[3840 × 2160 24p] ^{※4}	✓		✓	—
[1920 × 1080 120p] ^{※2}	✓		✓	—
[1920 × 1080 100p] ^{※2}	✓		✓	—
[1920 × 1080 60p]	✓		✓	✓
[1920 × 1080 50p]	✓		✓	✓
[1920 × 1080 30p]	—		✓	✓
[1920 × 1080 25p]	—		✓	✓
[1920 × 1080 24p]	—		✓	✓

※1 メニューに表示されるフレームレートと実際に撮影できるフレームレートが異なる場合があります。実際に撮影できるフレームレートは次の通りです。
120p : 119.88 コマ / 秒、100p : 100 コマ / 秒、60p : 59.94 コマ / 秒、50p : 50 コマ / 秒、30p : 29.97 コマ / 秒、25p : 25 コマ / 秒、24p : 23.976 コマ / 秒

※2 動画撮影メニュー [電子手ブレ補正] は [OFF] に固定されます。

※3 8K UHD 動画として記録されます。DX レンズ装着時は選べません。

※4 4K UHD 動画として記録されます。

UPDATE! 動画の画質 (N-RAW)

動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] で [N-RAW 12-bit (NEV)] を選んだ場合の動画の画質を選べます。

動画撮影メニュー [動画の画質 (N-RAW)] で設定できます。[高画質] または [標準] から選べます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



🚨 【高画質】と【標準】のビットレートについて

【高画質】は【標準】に比べてビットレートが約 1.6 倍から約 2 倍あり、ファイルサイズが大きくなります。【高画質】の動画撮影時には高速の転送速度が必要なため、メモリーカードの転送速度が遅い場合は【標準】に設定することをおすすめします。

撮像範囲設定

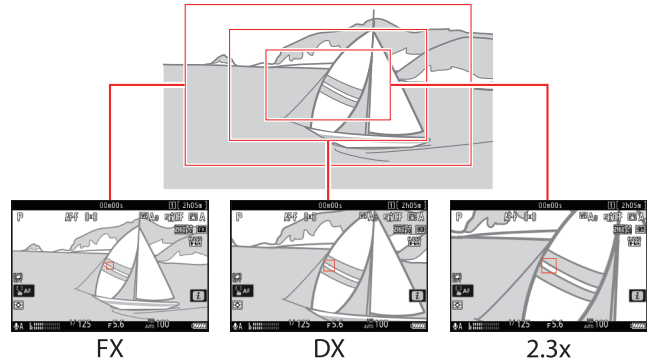
撮像範囲を変更できます。[FX] に設定した場合は FX ベースの（動画）フォーマットに、[DX] に設定した場合は DX ベースの（動画）フォーマットになります。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

■ 動画撮影時の撮像範囲について

動画撮影時の撮像範囲は図のようになります。アスペクト比（縦横比）は撮像範囲にかかわらず 16 : 9 です。

- [FX] に設定した場合は FX ベースの（動画）フォーマットに、[DX] に設定した場合は DX ベースの（動画）フォーマットになります。



- 動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] で [N-RAW 12-bit (NEV)] および [ProRes RAW HQ 12-bit (MOV)] を選んでいる場合は、[画像サイズ/フレームレート] の設定によって撮像範囲が変更されます。動画撮影メニュー [撮像範囲] > [撮像範囲設定] での設定は行なえません。

- [画像サイズ/フレームレート] を [3840 × 2160 120p]、[3840 × 2160 100p]、[1920 × 1080 120p]、[1920 × 1080 100p] に設定している場合に、[撮像範囲設定] を [DX] に設定するか DX レンズを装着すると、FX フォーマットの焦点距離の約 2.3 倍に相当する画角になります。

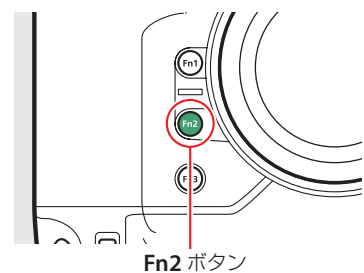
- それぞれの撮像範囲のサイズは次の通りです。

フォーマット	サイズ
FX ベースの（動画）フォーマット	約 35.9 × 20.2mm
DX ベースの（動画）フォーマット	約 23.5 × 13.2mm
2.3 倍時	約 16.7 × 9.4mm

- DX レンズを装着した場合は、自動的に DX ベースの（動画）フォーマットになります。
- 動画の画像サイズを 7680 × 4320 に設定した場合は、撮像範囲は [FX] に固定されます。DX レンズを装着した場合、画像サイズは 3840 × 2160 に変更されます。
- 動画撮影メニュー [電子手ブレ補正] を [ON] に設定しているときは、画角が狭くなります。

■ 撮像範囲の設定方法

Fn2 ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回します。



- 設定した撮像範囲は撮影画面に表示されます。



画質に関する設定

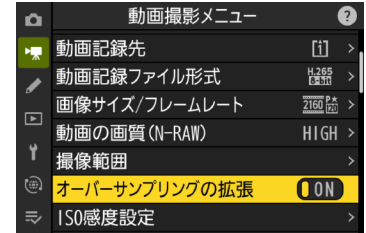
UPDATE! オーバーサンプリングの拡張

[ON] に設定すると、動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] の設定が [3840 × 2160 60p]、[3840 × 2160 50p] の場合に画像の読み出し形式を変更して高い画質で撮影を行います。

動画撮影メニュー [オーバーサンプリングの拡張] で設定できます。

- [ON] に設定すると、バッテリーの消耗は早くなります。
- RAW 動画撮影時は [ON] に設定していてもオーバーサンプリングの拡張は適用されません。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



ISO 感度

動画モードでは、撮影モードが P、S、A の場合は常に ISO AUTO（感度自動制御）で制御されます。ISO 感度が高くなり過ぎないように、上限感度を設定することもできます。撮影モード M の場合は、さらに自分で ISO 感度を設定することが可能です。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

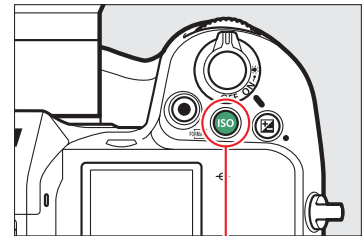
■ 撮影モード P、S、A の場合

- ISO 感度は ISO 64 ~ Hi 2.0 の間で自動制御され、制御された ISO 感度は撮影画面と表示パネルに表示されます。
- RAW 動画撮影時は高感度 (Hi 0.3 ~ Hi 2.0) は設定できません。



■ 撮影モード M の場合

- ISO ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、ISO AUTO（感度自動制御する）と ISO（感度自動制御しない）を切り換えられます。動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [M モード時の感度自動制御] でも設定できます。
- ISO（感度自動制御しない）の場合、ISO ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと ISO 感度を ISO 64 ~ Hi 2.0 の間で設定できます。動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [M モード時の ISO 感度] でも設定できます。RAW 動画撮影時は高感度 (Hi 0.3 ~ Hi 2.0) は設定できません。
- カスタムメニュー g8 [ISO 感度ステップ幅拡張 (M モード)] を [する (1/6 段)] に設定すると、ISO 64 ~ 25600 の間のステップ幅を 1/6 段で設定できます (☞61)。
- ISO 感度は、撮影画面と表示パネルに表示されます。



ISO ボタン

■ 上限感度を設定する

- 感度自動制御するとき ISO 感度が高くなりすぎないように、動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [制御上限感度] で上限感度を ISO 200 から Hi2.0 の間で設定できます。
- 動画撮影メニュー [電子手ブレ補正] を [ON] に設定すると、動画の ISO 感度の上限は 25600 に制限されます。
- 撮影モードが P、S、または A の場合と、撮影モード M で [M モード時の感度自動制御] が [ON] の場合は、ここで設定した感度が自動制御の上限になります。



🚨 感度自動制御についてのご注意

- ISO 感度が上がると、被写体によっては、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）が発生することがあります。動画撮影メニュー [高感度ノイズ低減] を [強め]、[標準]、[弱め] のいずれかに設定すると、ざらつきを低減できます (☞34)。
- ISO 感度が上がると、ピントが合いにくくなることがあります。
- 上記の現象が発生する場合は、動画撮影メニュー [ISO 感度設定] の [制御上限感度] を下げて撮影してください。
- 動画の階調モードで [HLG] を選んでいる場合、[制御上限感度] で設定できる下限は ISO 800、[M モード時の ISO 感度] で設定できる下限は ISO 400 になります。
- 動画の階調モードで [N-Log] を選んでいる場合、[制御上限感度] で設定できる下限は ISO 1600、[M モード時の ISO 感度] で設定できる下限は ISO 800 になります。





画質に関する設定

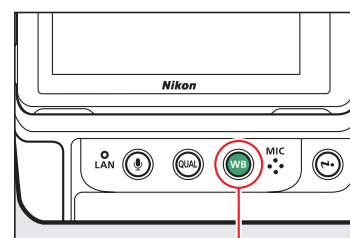
ホワイトバランス

天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更します。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

■ ホワイトバランスの設定方法





- **WB** ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。選んだ設定によって、撮影画面に表示される画像の色味が変更され、ホワイトバランスの効果をすぐに確認できます。
- ホワイトバランスが **AUTO** (オート) および  (蛍光灯) のときに、**WB** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと、**AUTO** (オート) または  (蛍光灯) の種類を変更できます。
- ホワイトバランスが  (色温度設定) の場合は、サブコマンドダイヤルを回すと色温度が切り替わります。
- ホワイトバランスがプリセットマニュアルの場合は、サブコマンドダイヤルを回してプリセットマニュアルデータの保存場所を選べます。
- **WB** ボタンを押しながらマルチセレクターの  を押すと、選んだホワイトバランスを調整できます。
- ホワイトバランスは、撮影画面に表示されます。



WB ボタン



■ i メニューでホワイトバランスを微調整する

- **i** メニューで [ホワイトバランス] を選んで  ボタンを押すと、ホワイトバランスの選択項目が表示されます。設定したいホワイトバランスを選び ( [色温度設定] 以外)、調整画面が出るまで  を押すと、ホワイトバランスを調整できます。撮影画面を見ながら色味を調整できます。
- 画面上の矢印をタッチするか、マルチセレクターを押すと値を変更できます。
-  ボタンを押すと調整値を決定して **i** メニュー画面に戻ります。

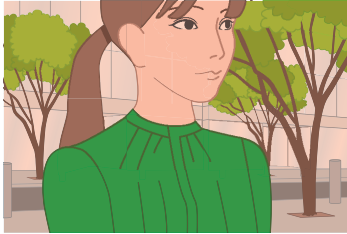


🔔 動画撮影時のホワイトバランスについて

動画撮影メニュー [ホワイトバランス] で [静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影時と同じホワイトバランスの設定になります。

■ [オート] または [自然光オート] 設定時にホワイトバランスを一時的に固定する

ホワイトバランスを [オート] または [自然光オート] に設定している場合、ホワイトバランスを一時的に固定できます。たとえば、赤や緑色などの鮮やかな色の服を着た被写体をアップにすると画像の色味が変わってしまうことがあります。ホワイトバランスを固定すれば色味が変わることを防げます。

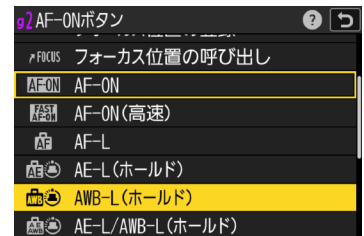


被写体をアップにすると、画角内の色に合わせてホワイトバランスが変更されて色味が変わることがあります。



被写体をアップで撮影する前にオートホワイトバランスロック (AWB-L) をしておくと、色味が変わることなく撮影できます。

- g2 [カスタムボタンの機能] で [AWB-L (ホールド)] を割り当てたボタンを1回押しとホワイトバランスを固定できます (オートホワイトバランスロック)。また、[AE-L/AWB-L (ホールド)] を割り当てると、ホワイトバランスと露出をロックできます (☞58)。
- もう一度 [AWB-L (ホールド)] または [AE-L/AWB-L (ホールド)] を割り当てたボタンを押すか、半押しタイマーがオフになるまでロックされます。

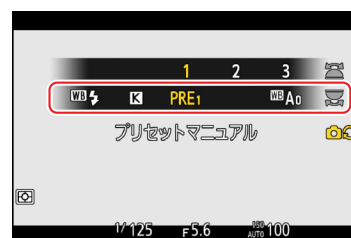


画質に関する設定

■ プリセットマニュアルデータの新規取得方法

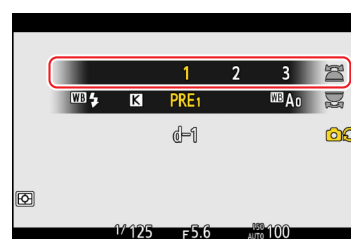
撮影する光源下でホワイトバランスデータを取得し、カメラに保存したい場合は、プリセットマニュアルを使用します。

1 WB ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回して PRE を選ぶ



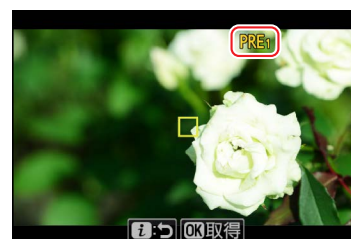
2 WB ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回して、新規取得するプリセットマニュアルデータの保存場所を選ぶ

- プリセットマニュアルデータの保存場所を d-1 ~ d-6 の中から選びます。



3 いったん WB ボタンから指を放し、再度 WB ボタンを押し続けてプリセットマニュアル取得モードにする

- 撮影画面に PRE が点滅します。
- 画面中央に黄色の □ が表示されます。



4 PRE の点滅中に □ を被写体の白またはグレーの部分に重ねてプリセットマニュアルデータを取得する

- **Q** ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、□ で選んだ部分を細部まで確認できます。
- □ はマルチセレクターで移動できます。
- シャッターボタンを全押しするか **OK** ボタンを押すとプリセットマニュアルデータを取得できます。
- 画像モニターをタッチすると、□ が移動してデータを取得します。



5 **i** ボタンを押してプリセットマニュアル取得モードを終了する

ピクチャーコントロール

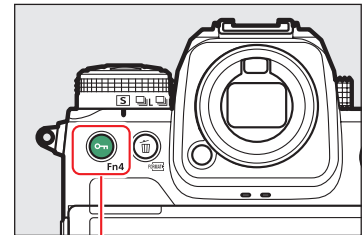
被写体や撮影シーンに合わせてピクチャーコントロールを設定します。[静止画の設定と同じ] を選ぶと、静止画撮影時と同じ設定になります。動画とピクチャーコントロールの [フラット] を組み合わせた場合、動画のポストプロダクション時に豊富な情報を持つ素材映像として有効です。ハイライト部の情報をしっかり確保したい場合には、ハイライト重点測光を併用することで被写体のハイライト部分の白とびを抑えることができます。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

■ ピクチャーコントロールの設定方法

Fn (Fn4) ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。

- 選んだ設定によって、撮影画面に表示される画像の色味などが変更され、ピクチャーコントロールの効果をすぐに確認できます。
- Creative Picture Control の項目を選んでいる場合、**Fn (Fn4)** ボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回すと適用度を変更できます。
- 設定が変更され、撮影画面に戻ります。



Fn (Fn4) ボタン

A [オート]	[ニュートラル] をもとに、動画に適したコントラストや輪郭にカメラが自動的に調整します。 ● ほとんどの撮影状況に適しています。
SD [スタンダード]	[オート] よりも解像感を重視した画像になります。
NL [ニュートラル]	素材性を重視した自然な画像になります。 ● 撮影した画像を調整、加工する場合に適しています。
VI [ビビッド]	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。 ● 青、赤、緑など、原色を強調したいときに適しています。
MC [モノクローム]	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
PT [ポートレート]	人物の肌がなめらかで自然な画像になります。
LS [風景]	自然の風景や街並みが色鮮やかな画像になります。
FL [フラット]	シャドー部からハイライト部まで幅広く情報を保持した画像になります。 ● 撮影した画像を積極的に調整、加工する場合に適しています。
01 ~ 20 Creative Picture Control (クリエイティブピクチャーコントロール)	色合いや階調、彩度などを細やかに作りこんだ多彩な効果により、さまざまな雰囲気を表現して撮影できます。 ● [ドリーム] や [モーニング] など、全部で 20 種類があります。

🚨 ピクチャーコントロールの設定について

- 動画の階調モードで [HLG] または [N-Log] を選んでいる場合、ピクチャーコントロールは設定できません。[HLG] を選んでいる場合は、動画撮影メニュー [HLG 画質調整] で画像の仕上がりを調整できます (☞34)。
- RAW 動画の場合、ピクチャーコントロールの設定は反映されません。

画質に関する設定

■ i メニューでピクチャーコントロールを調整する

- i メニューで [ピクチャーコントロール] を選んで **OK** ボタンを押すと、ピクチャーコントロールの選択項目が表示されます。調整したいピクチャーコントロールを選んで **OK** を押すと、撮影画面を見ながら調整できます。
- **←** **→** で調整する項目を選びます。**↻** **↻** を押すと1ステップ刻みで、サブコマンドダイヤルを回すと0.25ステップ刻みで値を調整します。
- 調整できる項目は、選んだピクチャーコントロールによって異なります。
- **FORMAT** ボタンを押すと初期設定の内容に戻ります。
- **OK** ボタンを押すと調整値を決定します。



● ピクチャーコントロールを調整した場合の表示について

ピクチャーコントロールを調整すると、ピクチャーコントロールのアイコンにアスタリスク (*) が表示されます。



■ レベル調整の設定項目

[適用度]	Creative Picture Control の効果をどれだけ適用するかを調整します。	
[クイックシャープ]	[クイックシャープ] を調整すると、画像のシャープさを調整する [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目をバランスよく調整します。各項目を個別に調整することも可能です。	
手動調整	[輪郭強調]	画像の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。
	[ミドルレンジシャープ]	[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。
	[明瞭度]	画像の階調や明るさを維持しながら、画像全体や太めの線のシャープさを調整します。
[コントラスト]	画像のコントラストを調整できます。	
[明るさ]	白とびや黒つぶれを抑えながら画像の明るさを調整します。	
[色の濃さ(彩度)]	画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整できます。	
[色合い(色相)]	画像の色合いを調整できます。	
[フィルター効果]	白黒写真用カラーフィルターを使って撮影したときのような効果が得られます。	
[調色]	印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。	
[色の濃淡]	適用する Creative Picture Control の色の濃さを調整できます。	

✔ **ピクチャーコントロールで [A オート] を選んでいる場合**
各項目の調整レベルを [A - 2] ~ [A + 2] から選ぶことができます。

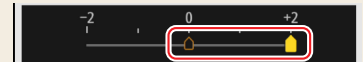


✔ **調整項目の [A] (オート) についてのご注意**

- [A] (オート) がある項目では、[A] を選ぶと自動で調整されます。
- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。

✔ **ピクチャーコントロール調整時のアンダーバーについて**

ピクチャーコントロール調整中に各項目に表示される Δ マークは、調整する前の値を示しています。前回調整した値を参考にして調整するときに便利です。




✔ **【モノクローム】の【フィルター効果】について**

【フィルター効果】には、次のような効果があります。

Y (黄*)	コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。[Y] → [O] → [R] の順にコントラストが強くなります。
O (オレンジ*)	
R (赤*)	
G (緑*)	肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

※ 市販の白黒写真用カラーフィルターの色です。

✔ **【モノクローム】の【調色】について**

【調色】の項目（[B&W] 以外）を選んでマルチセレクターの  を押すと、さらに色の濃淡を選べます。⌚ または ⌚ を押して選んでください。



画質に関する設定

HLG 画質調整

階調モードとして [HLG] を設定した場合の画像の仕上がりを調整できます。

動画撮影メニュー [HLG 画質調整] で設定できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓



HLG 画質調整の設定項目

[クイックシャープ]	[クイックシャープ] を調整すると、画像のシャープさを調整する [輪郭強調]、[ミドルレンジシャープ]、[明瞭度] の各項目をバランスよく調整します。各項目を個別に調整することも可能です。	
手動調整	[輪郭強調]	画像の精緻な部分や、被写体の輪郭部分のシャープさを調整します。
	[ミドルレンジシャープ]	[輪郭強調] と [明瞭度] の中間の細かさの模様や線に対してシャープさを調整します。
	[明瞭度]	画像の階調や明るさを維持しながら、画像全体や太めの線のシャープさを調整します。
[コントラスト]	画像のコントラストを調整できます。	
[色の濃さ(彩度)]	画像の彩度(色の鮮やかさ)を調整できます。	
[色合い(色相)]	画像の色合いを調整できます。	

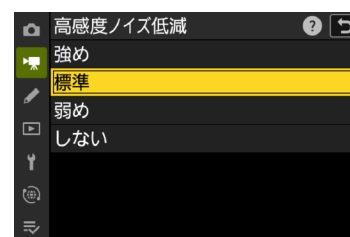
高感度ノイズ低減

動画の撮影時に、ISO 感度が高くなるほど発生しやすいノイズ(ざらつき)を低減します。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

動画撮影メニュー [高感度ノイズ低減] で設定できます。

- [強め]、[標準]、[弱め] のいずれかに設定すると、全ての ISO 感度で高感度ノイズの低減処理を行います。ISO 感度が高くなるほど効果的です。
- ノイズ低減の効果は、強い順に [強め]、[標準]、[弱め] になります。
- ノイズ低減の効果強くするにしたがって、被写体のエッジ部分が甘くなり、解像感が損なわれることがあります。
- [しない] に設定しても、ノイズが発生しやすい条件で撮影する場合のみ、ノイズ低減処理を行います。この場合のノイズ低減効果は [弱め] に設定したときよりもさらに弱くなります。
- RAW 動画撮影時は高感度ノイズの低減処理を行いません。



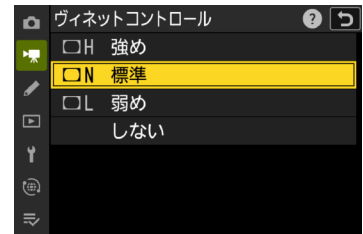
ヴィネットコントロール

レンズの特性による周辺光量の低下をレンズに応じて軽減します。特に開放絞り側で撮影した場合に効果的です。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

動画撮影メニューまたは静止画撮影メニューの「ヴィネットコントロール」で設定できます。一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

- [強め]、[標準]、[弱め] のいずれかに設定すると、周辺光量の低下を軽減します。
- ヴィネットコントロールの効果は、強い順に [強め]、[標準]、[弱め] になります。
- RAW 動画の場合、ヴィネットコントロールの設定は反映されません。



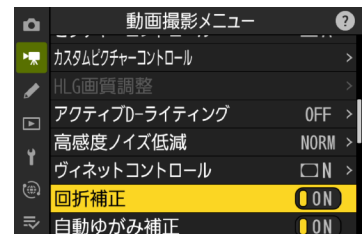
回折補正

[ON] に設定すると、レンズの絞りを絞り込んだときに画像の解像感が低下する、回折現象を補正します。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

動画撮影メニューまたは静止画撮影メニューの「回折補正」で設定できます。一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

- RAW 動画撮影時は回折補正を行いません。



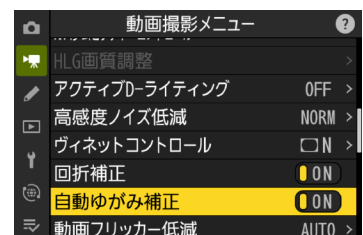
自動ゆがみ補正

[ON] に設定すると、広角レンズ使用時のたる型のゆがみや望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

動画撮影メニューまたは静止画撮影メニューの「自動ゆがみ補正」で設定できます。一方の設定を変更するともう一方も連動して変更されます。

- [ON] の場合は、カメラが必要だと判断した場合に補正します。
- 装着しているレンズによっては設定が [ON] に固定され、メニューはグレーで表示されて選べません。
- RAW 動画の場合、自動ゆがみ補正の設定は反映されません。



画質に関する設定

手ブレ補正

手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓

■ 手ブレ補正の設定方法

- 1 動画モードで **i** ボタンを押し、**[手ブレ補正]** を選んで **OK** ボタンを押す
 - 設定項目が表示されます。
 - 選べる項目は、カメラに装着しているレンズによって異なります。詳しくは下の表をご覧ください。
 - **[静止画の設定と同じ]** を選ぶと、静止画モード時と同じ設定になります。
 - **OK** ボタンを押す前にコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。



- 2 **←** **→** で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す
 - 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



■ 手ブレ補正の設定項目

ON [ノーマル]	手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影する場合に適しています。
SPT [スポーツ]	スポーツなどの動きの変化が激しい被写体を撮影する場合に適しています。動画撮影時は手ブレ補正を [スポーツ] に設定することをおすすめします。 [スポーツ] に設定すると、撮影時のカクツキが生じにくくなります。
[しない]	手ブレ補正を行いません。

🚨 手ブレ補正使用時のご注意

- 装着しているレンズによっては設定を変更できない場合があります。
- 撮影画面の表示が安定してから撮影することをおすすめします。
- 別売のマウントアダプター FTZ II/FTZ を使用して手ブレ補正切り換えスイッチのある F マウントレンズを装着している場合、**[手ブレ補正]** はグレーで表示されて選べません。レンズで手ブレ補正の設定を行ってください。

電子手ブレ補正

動画モードで電子手ブレ補正を行います。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓

1 動画モードで **i** ボタンを押し、[電子手ブレ補正] を選んで **OK** ボタンを押す

- 設定項目が表示されます。
- **OK** ボタンを押す前にコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。



2 **←** **→** で設定したい内容を選んで **OK** ボタンを押す

- 撮影に戻るには、再度 **i** ボタンを押してください。



✔ 電子手ブレ補正について

- 画像サイズを 7680 × 4320 に設定している場合、およびフレームレートを 120p または 100p に設定している場合は [OFF] に固定されます。
- 電子手ブレ補正を [ON] に設定すると、画角が小さくなるため撮影した画像は少し拡大されます。
- 電子手ブレ補正を [ON] に設定し、カメラを左右または上下に振って構図を動かそうとした場合、動き始めの動画がわずかに遅れることがあります。
- RAW 動画撮影時は電子手ブレ補正を行いません。

露出に関する設定

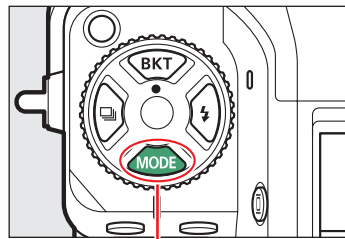
動画の露出に関する設定は次の通りです。

撮影モード

MODE ボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回すと、撮影モードを設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	✓
メニュー	—

- 設定した撮影モードは、撮影画面と表示パネルに表示されます。



MODE ボタン



- 撮影モード **P**、**S** で画像が明るくなりすぎたり、暗くなりすぎたりする場合は、撮影モードを **A** にして絞りの調整を行ってください。
- 動画撮影時に絞り値、シャッタースピード、ISO 感度を設定できるかどうかは、撮影モードによって異なります。

	絞り値	シャッタースピード	ISO 感度 ^{※2}
P 、 S ^{※1}	—	—	— ^{※3}
A	✓	—	— ^{※3}
M	✓	✓	✓ ^{※4}

※1 撮影モードが **S** の場合は、**P** に設定したときと同じ露出制御になります。

※2 動画撮影メニュー [電子手ブレ補正] を [ON] に設定すると、動画の ISO 感度の上限は 25600 に制限されます。

※3 動画撮影メニュー [ISO 感度設定] (□27) > [制御上限感度] で ISO 感度の上限を設定できます。

※4 動画撮影メニュー [ISO 感度設定] > [M モード時の感度自動制御] を [ON] に設定した場合、[制御上限感度] で ISO 感度の上限を設定できます。

🔔 撮影モード **M** でのシャッタースピードの設定について

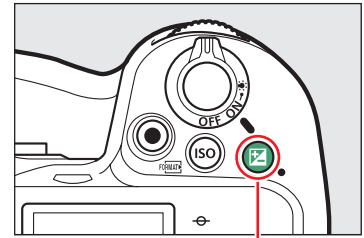
- 撮影モード **M** で動画撮影する場合、シャッタースピードを 1/25 ~ 1/32000 秒の範囲で設定できます。低速側の制限は動画のフレームレートによって異なります。
- カスタムメニュー g9 [シャッタースピード延長 (M モード)] を [ON] に設定すると、フレームレートを 60p ~ 24p に設定している場合に低速側のシャッタースピードを 1/4 まで設定できます (□41)。

露出補正

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることです。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	—

☒ ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。



☒ ボタン

- 補正量を設定すると、撮影画面と表示パネルに露出補正マーク ☒ が表示されます。表示パネルには補正量も数字で表示されます。☒ ボタンを押すと、撮影画面でも補正量を数字で確認できます。
- 動画の露出補正は± 3 段の範囲で設定できます。
- 補正ステップは、初期設定では 1/3 段ステップです。ステップ幅は、カスタムメニュー b2 [露出設定ステップ幅] で変更できます。
- 被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正してください。
- 露出補正を解除するには、補正量を 0.0 にしてください。カメラの電源を OFF にしても、補正量の設定は解除されません。



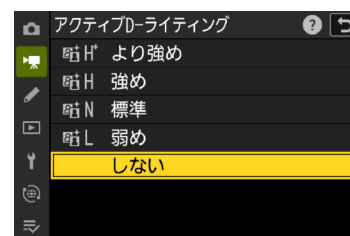
露出に関する設定

アクティブ D-ライティング

ハイライト部の白とびを抑えて暗部の黒つぶれを軽減する効果があり、見た目のコントラストに近い画像に仕上がります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するのに効果的です。

動画撮影メニュー [アクティブ D-ライティング] で設定できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓



- 設定したアクティブ D-ライティングは、撮影画面に表示されます。



⚠ アクティブ D-ライティングについて

動画の階調モードで [HLG] または [N-Log] を選んでいる場合または RAW 動画撮影時は、設定が [しない] に固定されます。

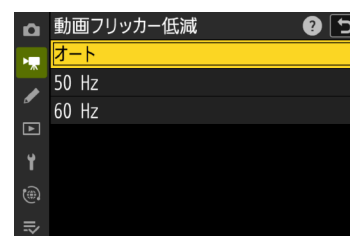
動画フリッカー低減

蛍光灯や水銀灯などの光源下で撮影画面や記録する動画に生じるちらつきや横縞（フリッカー現象）を低減できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

動画撮影メニュー [動画フリッカー低減] で設定できます。

- 通常はカメラが自動的に電源周波数を選ぶ [オート] をお使いください。
- [オート] にしていてもフリッカー低減効果が得られない場合は、お使いの地域の電源周波数に応じて、[50Hz] と [60Hz] から選びます。東日本など電源周波数が 50 Hz の地域では [50Hz] を選び、西日本など電源周波数が 60 Hz の地域では [60Hz] を選んでください。
- [動画フリッカー低減] の設定は、静止画モードの撮影画面の表示にも反映されます。



⚠ 【動画フリッカー低減】についてのご注意

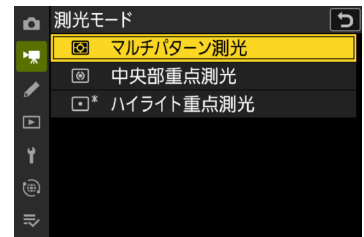
- [オート] に設定してもフリッカー低減効果が得られない場合や電源周波数がわからない場合は、設定を切り換えて試し撮りをするをおすすめします。
- 被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- 撮影モードが M 以外の場合、設定したシャッタースピードが必ずしも反映されないため、フリッカー低減できるシャッタースピードに設定しても、フリッカー低減効果が得られないことがあります。そのような場合は、撮影モードを M に設定し、シャッタースピードを次の値にすることで、フリッカー現象を低減できます。
 - 電源周波数が 50Hz の場合：1/100 秒、1/50 秒、1/25 秒
 - 電源周波数が 60Hz の場合：1/125 秒、1/60 秒、1/30 秒

測光モード

被写体の明るさを測るための設定を選べます。

動画撮影メニュー [測光モード] で設定できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓



- 設定した測光モードは、撮影画面に表示されます。



■ 測光モードの設定項目

[マルチパターン測光]	画面の広い領域を測光して、被写体の輝度（明るさ）分布、色、距離や構図などさまざまな情報を瞬時に分析するため、見た目に近い画像が得られます。
[中央部重点測光]	画面の中央部分を重点的に測光します。画面中央にメインの被写体を大きく配置して撮影する場合などに適しています。
[ハイライト重点測光]	画面のハイライト部分を重点的に測光します。舞台撮影など、ハイライト部分の白とびを軽減して撮影したい場合に適しています。

動画撮影時の測光モードについて
スポット測光は使用できません。

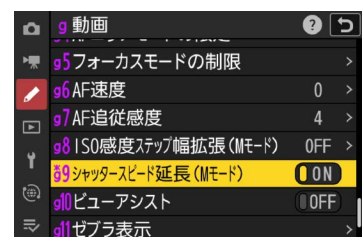
UPDATE! シャッタースピード延長 (M モード)

撮影モード M 時のシャッタースピードをより低速に設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

カスタムメニュー g9 [シャッタースピード延長 (M モード)] を [ON] に設定すると、フレームレートを 60p ~ 24p に設定している場合に低速側のシャッタースピードを 1/4 まで設定できます。

- 星景撮影など暗い被写体を撮影する場合に、ISO 感度の上昇を抑えることができます。
- [ON] に設定して低速のシャッタースピードで撮影した場合、動画の複数のフレームに同じ映像が記録されます。
- [ON] に設定して低速のシャッタースピードで撮影する場合は、カクツキやブラーが発生することがあります。風景や動きが少ない被写体を撮影する場合は、三脚に固定して撮影することをおすすめします。



フォーカスに関する設定

動画のフォーカスに関する設定は次の通りです。

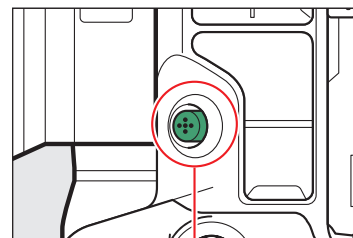
フォーカスモード

ピントの合わせ方を選べます。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

■ フォーカスモードの設定方法

フォーカスモードボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回します。



フォーカスモードボタン

- 設定したフォーカスモードは、撮影画面および表示パネルに表示されます。



■ フォーカスモードの設定項目

AF-S [シングル AF]	静止している被写体の撮影に適しています。 <ul style="list-style-type: none">● シャッターボタンを半押しまたは AF-ON ボタンを押してピント合わせを行えます。ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。
AF-C [コンティニユアス AF]	スポーツなど動きのある被写体の撮影に適しています。 <ul style="list-style-type: none">● シャッターボタンの半押しまたは AF-ON ボタンを押し続けている間はフォーカスロックされず、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。
AF-F [フルタイム AF]	被写体の動きや構図の変化に合わせて常にピントを合わせ続けます。 <ul style="list-style-type: none">● シャッターボタンを半押しまたは AF-ON ボタンを押すとピント合わせを行って、ピントが合った時点でフォーカスポイントが赤色から緑色に変わって点灯し、フォーカスがロックされます。
MF [マニュアルフォーカス]	ピントを自分で合わせたいときに選びます。

🚨 オートフォーカスについてのご注意

- 次の被写体はオートフォーカスでピントが合わない場合があります。その場合、マニュアルフォーカスでピント合わせを行ってください。
 - 画面の長辺側と平行な線の被写体
 - 明暗差の少ない被写体
 - フォーカスポイント内の被写体の輝度が著しく異なる場合
 - イルミネーション、夜景などの点光源や、ネオンなど明るさが変化する被写体
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が見える場合
 - クロスフィルターなど、特殊なフィルターを使用した場合
 - フォーカスポイントに対して被写体が小さい場合
 - 連続した繰り返しパターンの被写体（ビルの窓やブラインドなど）
- オートフォーカス作動中は、画面の明るさが変わることがあります。
- ピントが合わなくてもフォーカスポイントが緑色で点灯する場合があります。
- 暗い場所でピント合わせを行うと、ピントが合うまで時間がかかる場合があります。

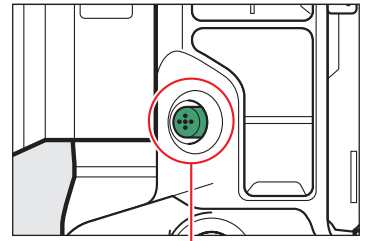
AF エリアモード

オートフォーカス使用時に、フォーカスポイントをどのように選択するか設定できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

■ AF エリアモードの設定方法

フォーカスモードボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回します。



フォーカスモードボタン

- 設定した AF エリアモードは、撮影画面および表示パネルに表示されます。



■ AF エリアモードの設定項目

[AF]	[シングルポイント AF]	選んだフォーカスポイントだけを使ってピント合わせをします。
[WIDE-S]	[ワイドエリア AF (S)]	シングルポイント AF よりも広い範囲で被写体をとらえてピント合わせを行います。動きのある被写体を撮影する場合やパン・チルトを行う場合に、滑らかで安定したピント合わせが行えます。
[WIDE-L]	[ワイドエリア AF (L)]	
[W-C1]	[ワイドエリア AF (C1)] <small>UPDATE</small>	ピント合わせを行う AF エリアのサイズを、フォーカスポイントの縦と横の数で 12 パターンから設定できます。 ● フォーカスモードボタンを押しながらマルチセレクターの を押すと AF エリアのサイズを変更できます。
[W-C2]	[ワイドエリア AF (C2)] <small>UPDATE</small>	● AF エリアのサイズは、動画撮影メニュー[AF エリアモード]の[ワイドエリア AF (C1)]または[ワイドエリア AF (C2)]でも設定できます。
[AF-ON]	[ターゲット追尾 AF]	被写体の動きに合わせてフォーカスポイントを追尾させることができます。 ● 追尾させたい被写体にフォーカスポイントを合わせ、 AF-ON ボタンまたは AF-ON ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると被写体の追尾を開始し、被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。 ● AF-ON ボタンを押すと追尾を終了してフォーカスポイントが撮影画面の中央に戻ります。
[AF]	[オートエリア AF]	カメラが自動的に全てのフォーカスポイントから被写体を判別して AF エリアフレーム内でピントを合わせます。

⚠ ターゲット追尾 AF についてのご注意

追尾中の被写体が隠れたり、画面から外れた場合、追尾動作が正常に行われなかったりすることがあります。

🚩 瞳 AF と顔検出 AF についてのご注意

次のような場合は、瞳または顔を正常に検出できないことがあります。

- 顔が画面に対して大きい / 小さい場合
- 顔が明るすぎる / 暗すぎる場合
- メガネやサングラスをかけている場合
- 髪の毛で目や顔が隠れている場合
- 人物の動きが大きすぎる場合

🚩 動物 AF についてのご注意

次のような場合は、動物を正常に検出できないことがあります。

- 顔が画面に対して大きい / 小さい場合
- 顔が明るすぎる / 暗すぎる場合
- 体毛などで目や顔が隠れている場合
- 瞳と周辺部位の色が近い場合
- 動物の動きが大きすぎる場合
- 犬、猫、鳥以外でも、類似した動物に枠が表示されることがあります。

● AF 補助光が動物の瞳に悪影響をおよぼす可能性があるため、カスタムメニュー a12 [内蔵 AF 補助光の照射設定] を [OFF] に設定してください。

🚩 乗り物 AF についてのご注意

次のような場合は、乗り物を正常に検出できないことがあります。

- 被写体が画面に対して大きい / 小さい場合
- 被写体が明るすぎる / 暗すぎる場合
- 被写体が部分的に隠れている場合
- 被写体と周辺の色が近い場合
- 被写体の動きが大きすぎる場合

● 被写体の色、形状によっては検出できない場合があります。また、乗り物以外に枠が表示されることがあります。

🚩 被写体の検出性能について

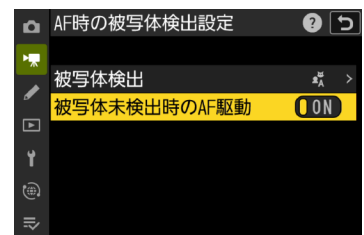
動画の階調モードで [HLG] または [N-Log] を選んでいる場合は、被写体の検出性能が低下することがあります。

■ [被写体未検出時の AF 駆動]

フォーカスモードが AF-F のときに、[被写体検出] で設定した被写体が検出できていない場合にピント合わせを行うかどうかを設定できます。

動画撮影メニュー [AF 時の被写体検出設定] の [被写体未検出時の AF 駆動] で設定できます。

- [ON] : 被写体が検出できていない場合もピント合わせを行います。
- [OFF] : 被写体が検出できていない場合はピント合わせを行いません。



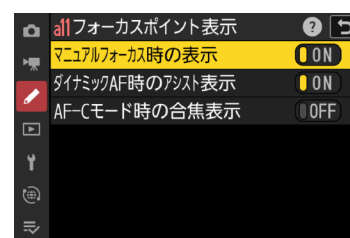
フォーカスに関する設定

フォーカスポイント表示

フォーカスポイントの表示に関する設定ができます。

カスタムメニュー a11 [フォーカスポイント表示] で設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



■ [マニュアルフォーカス時の表示]

MF 時のフォーカスポイント表示を設定できます。

- [ON]：マニュアルフォーカスでの撮影時にフォーカスポイントが常に点灯します。
- [OFF]：フォーカスポイントを移動したときのみ一瞬点灯します。

■ [AF-C モード時の合焦表示]

フォーカスモードが **AF-C** の場合に、ピントが合ったときのフォーカスポイントの表示を設定できます。

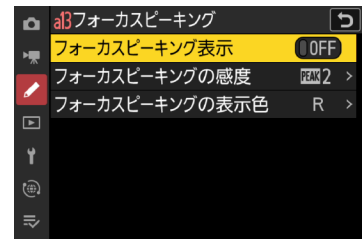
- [ON]：ピントが合っているとカメラが判断した場合に、フォーカスポイントが緑色で表示されます。撮影画面ではピントが合っているか分かりづらいシーンに有効です。
- [OFF]：ピントの状態にかかわらず、フォーカスポイントは常に赤色または黄色で表示されます。

フォーカスピーキング

マニュアルフォーカスで動画撮影するときに、ピントが合っている部分の輪郭を色付きで表示するかどうかを設定できます。

カスタムメニュー a13 [フォーカスピーキング] の [フォーカスピーキング表示] で設定できます。

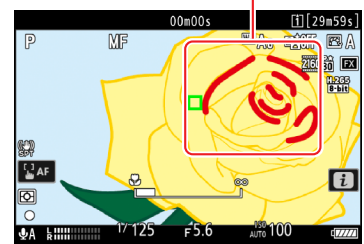
i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓



■ [フォーカスピーキング表示]

[ON] に設定すると、フォーカスピーキングを有効にします。現在どこにピントが合っているのかを簡単に確認できます。

ピントが合っている部分



📌 フォーカスピーキング表示の設定について

カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で任意のボタンに [フォーカスピーキング表示] を割り当てると、割り当てたボタンで表示の ON と OFF を切り換えられます (☞58)。

■ [フォーカスピーキングの感度]

フォーカスピーキングで表示される範囲を変更できます。

- [3 (高感度)] に設定するとピントが合っていると判断される範囲が広くなり、[1 (低感度)] に設定すると範囲が狭くなります。

■ [フォーカスピーキング表示色]

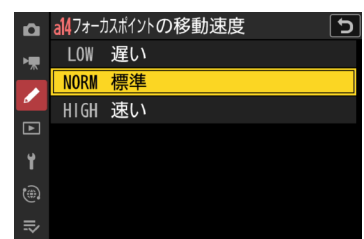
フォーカスピーキングで強調する部分の色を変更できます。

UPDATE! フォーカスポイントの移動速度

マルチセレクターやサブセレクターを使用してフォーカスポイントを選ぶ場合のフォーカスポイント移動速度をから選べます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

カスタムメニュー a14 [フォーカスポイントの移動速度] で [遅い]、[標準]、[速い] から設定できます。



フォーカスに関する設定

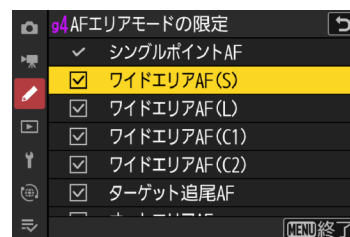
AF エリアモードの限定

フォーカスモードボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回した場合に選べる AF エリアモードを設定できます。

カスタムメニュー g4 [AF エリアモードの限定] で設定できます。

- チェックボックスをオン にした項目のみ、フォーカスモードボタンを押しながらサブコマンドダイヤルを回したときに選べます。
- [シングルポイント AF] の は外せません。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



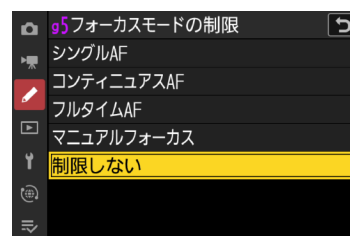
フォーカスモードの制限

フォーカスモードを固定できます。

カスタムメニュー g5 [AF エリアモードの限定] で設定できます。

- [制限しない] 以外を選ぶと、フォーカスモードボタンを押しながらメインコマンドダイヤルを回してもフォーカスモードが変わらないため、誤操作で設定を変更してしまうことを防止できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



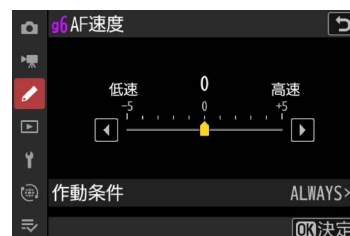
AF 速度

フォーカスモードが AF-F または AF-C の場合にシャッターボタンを半押しまたは AF-ON ボタンを押したときのピント合わせ速度を設定できます。

カスタムメニュー g6 [AF 速度] で -5 ~ +5 の範囲から設定できます。

- ピント合わせを速くしたい場合は + 側、遅くしたい場合は - 側に設定してください。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



設定した AF 速度が有効な条件を [動作条件] で次の通り設定できます。

ALWAYS [常時有効]	動画モードの間は常に設定した AF 速度で動作します。
REC [撮影中のみ有効]	動画記録中のみ設定した AF 速度で動作します。それ以外は最高速でピントを合わせます。

🔍 レンズの動作音について

AF 速度を高速側に設定するほど、ピント合わせをするときのレンズの動作音が大きくなります。特に [+5] に設定した場合は大きな動作音がすることがあるため、音が気になるときは低速側に設定してください。

🔍 [AF-ON] と [AF-ON (高速)]

カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で、任意のボタンに [AF-ON] と [AF-ON (高速)] を割り当てられます (☞58)。

- [AF-ON] を割り当てたボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、g6 [AF 速度] で設定した速度でピント合わせを行います。[AF-ON (高速)] を割り当てたボタンを押すと、g6 [AF 速度] での設定にかかわらず常に高速 (+5 相当) でピント合わせを行います。
- [AF-ON] と [AF-ON (高速)] を異なるボタンに割り当てておくことで、2 種類の速度でピント合わせを行えます。たとえば人物にはゆっくりとした速度で、他の被写体には素早くピントを合わせたい場合、人物には [AF-ON] を割り当てたボタン、その他の被写体には [AF-ON (高速)] を割り当てたボタンを押してピントを合わせます。

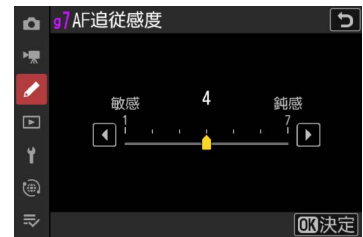
AF 追従感度

被写体にピントを合わせる感度を設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

カスタムメニュー g7 [AF 追従感度] で 1～7 の範囲から設定できます。

- [7 (鈍感)] に設定すると、元の被写体からピントが外れにくくなります。
- [1 (敏感)] に設定すると、被写体がフォーカスポイントから外れた場合、フォーカスポイントの範囲内にある他の被写体にすぐにピントを合わせます。



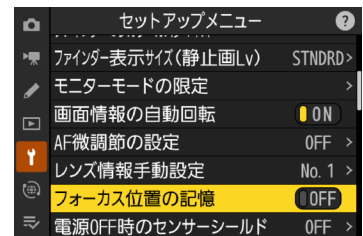
フォーカス位置の記憶

ピント合わせを行った後にカメラの電源を OFF にして再度 ON にした場合も、ピント位置を保持するかどうかを設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

セットアップメニュー [フォーカス位置の記憶] で設定できます。

- [ON] に設定すると、カメラの電源を OFF にしてもピント位置を保持します。



🚨 フォーカス位置の記憶について

- カメラの電源を ON にしてから操作ができるようになるまで時間がかかることがあります。
- [ON] に設定していても、ズーム操作や環境温度の変化によっては、カメラの電源を OFF にする前と再度 ON にした後でピント位置が変わる場合があります。
- [OFF] に設定していても、カメラやレンズの状態によってはピント位置が保持されることがあります。

録音に関する設定

動画音声の録音に関する設定は次の通りです。

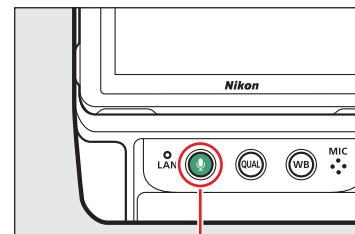
マイク感度

内蔵マイクまたは外部マイクの感度を調整できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

🎧 ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回します。

- 1～20の間で調整できます。数字が大きいほど感度が高く、小さいほど低くなります。
- オートに設定すると、カメラが自動的にマイク感度を調整します。
- [録音しない] に設定すると、音声は記録しません。



🎧 ボタン

🔔 マイク感度について

音声レベルインジケータの色が赤で表示される場合、音量が大きすぎることを示しています。マイク感度を調節してください。



🔔 外部マイクについて

- 3.5mm ミニプラグマイクを外部マイク入力端子に接続すると、外部マイクを使用して動画撮影することができます。
- 使用する外部マイクに電源を供給するかどうかを動画撮影メニュー [マイク端子のプラグインパワー] で設定できます (☞52)。

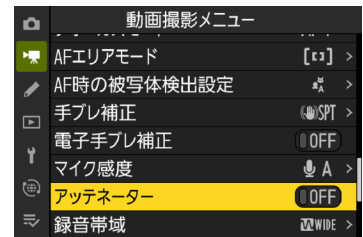
アッテネーター

大音量の環境下で動画記録をするときに、マイク感度を減衰させて音割れを抑えます。

動画撮影メニュー [アッテネーター] で設定できます。

- [ON] に設定すると、音割れを抑えて動画を記録します。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓



録音帯域

内蔵マイクまたは外部マイクの周波数特性を設定します。

動画撮影メニュー [録音帯域] で設定できます。

- [広帯域]：低音域から高音域まで録音します。楽器演奏や街のざわめきの録音など、幅広いシーンに適しています。
- [音声帯域]：主に人の声を録音したいときに適しています。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓



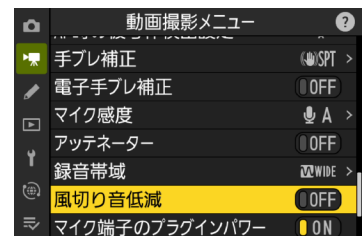
風切り音低減

ローカットフィルター機能により、内蔵マイクに吹き付ける風の音を抑えて記録できます。

動画撮影メニュー [風切り音低減] で設定できます。

- [ON] に設定すると、風の音を抑えられます。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓



風切り音低減について

- [ON] に設定すると風切り音以外の音も聞こえにくくなる場合があります。
- 別売のステレオマイクロホンをお使いの場合は、カメラ側で [風切り音低減] を [ON] に設定しても風切り音は低減されません。風切り音低減機能のあるステレオマイクロホンをお使いの場合は、ステレオマイクロホン側で設定してください。

録音に関する設定

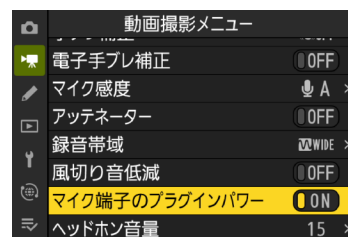
マイク端子のプラグインパワー

カメラから外部マイクに電源を供給するかどうかを設定できます。

動画撮影メニュー [マイク端子のプラグインパワー] で設定できます。

- [OFF] に設定すると、カメラから外部マイクに電源を供給しません。
- ご使用の外部マイクがプラグインパワー不要で、電力を供給することでノイズが録音される場合のみ [OFF] に設定することをおすすめします。
- お使いのマイクにプラグインパワーが不要かどうかは、外部マイクのメーカーにお問い合わせください。


i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



ヘッドホン音量

ヘッドホン音量を調整できます。

動画撮影メニュー [ヘッドホン音量] で調整できます。

-  を押して 0～30 の範囲で設定できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓



操作や表示に関する設定

動画撮影時の操作や撮影画面の表示に関する設定は次の通りです。

タイムコード

動画撮影メニュー [タイムコード] > [タイムコード記録] を [する] または [する (HDMI 外部出力あり)] に設定すると、フレームごとに「時・分・秒・フレーム」の情報 (タイムコード) を記録した動画を撮影できます。タイムコードを記録しておく、動画を編集する場合に再生位置や編集位置が管理しやすくなります。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

[タイムコード記録]	<ul style="list-style-type: none">● [する]：動画にタイムコードを記録します。撮影画面にタイムコードが表示されます。● [する (HDMI 外部出力あり)]：カメラと外部レコーダーを HDMI ケーブルで接続している場合、外部レコーダーに記録される動画にタイムコードを記録します。外部レコーダーは Atomos 社製 Monitor Recorder (SHOGUN、NINJA、SUMO シリーズ) に対応しています。● [しない]：タイムコードを記録しません。
[カウントアップ方式]	<ul style="list-style-type: none">● [レックラン]：動画記録中のみタイムコードをカウントアップします。● [フリーラン]：常にタイムコードをカウントアップします。カメラの電源が OFF になっている場合もカウントアップしています。
[タイムコードの起点]	<ul style="list-style-type: none">● [リセット]：現在表示されているタイムコードをリセットして「00:00:00.00」に戻します。● [手動入力]：時、分、秒、フレームをそれぞれ手動で設定できます。● [現時刻]：カメラに設定されている現在の時刻をそのままタイムコードとして使用します。あらかじめセットアップメニュー [タイムゾーンと日時] で日時が正確に設定されていることを確認してください。
[ドロップフレーム]	[ON] に設定すると、動画のフレームレートが 30fps または 60fps の場合に生じる実時間とタイムコードのずれを補正します。

✔ タイムコードについて

動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] で [H.264 8-bit (MP4)] に設定している場合、タイムコードは記録できません。

■ タイムコードの表示について

表示されるタイムコードの見方は次の通りです。



設定しているフレームレートによって、表示されるタイムコードのフレームの値が異なります。

- 30fps/60fps/120fps に設定時：00 ~ 29
- 25fps/50fps/100fps に設定時：00 ~ 24
- 24fps に設定時：00 ~ 23

操作や表示に関する設定

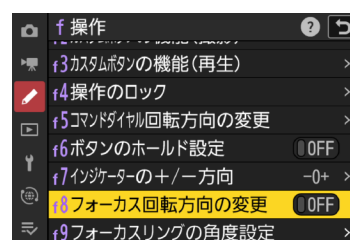
フォーカス回転方向の変更

マニュアルフォーカス時にフォーカスリングまたはコントロールリングでピントを合わせるときの回転方向を逆方向に変更できます。

カスタムメニュー f8 [フォーカス回転方向の変更] で設定できます。[ON] に設定するとピントを合わせるときの回転方向を変更できます。

- Z マウントレンズを装着している場合に変更できます。マウントアダプター FTZ II/FTZ を装着して F マウントレンズを使用している場合は対応していません。
- 一部のマニュアルフォーカス専用 Z マウントレンズには対応していません。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

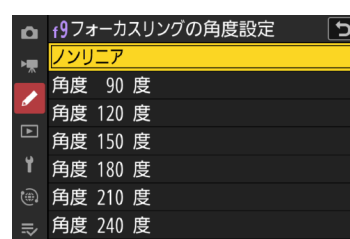


フォーカスリングの角度設定

マニュアルフォーカスでピント合わせをする場合に、至近側から無限遠側までピント位置を移動するために必要な、フォーカスリングまたはコントロールリングを回す角度を設定できます。

カスタムメニュー f9 [フォーカスリングの角度設定] で設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



[ノンリニア]	ピント位置の移動量は、フォーカスリングまたはコントロールリングを回す角度にかかわらず、リングを速く回すと大きく、ゆっくり回すと小さくなります。
[角度 90 度] ~ [角度 720 度]	至近側から無限遠側までピント位置を移動するために必要な、レンズのフォーカスリングまたはコントロールリングを回す角度を設定できます。
[最大]	至近側から無限遠側までピント位置を移動するためにはレンズに設定されている最大量の角度を回す必要があります。

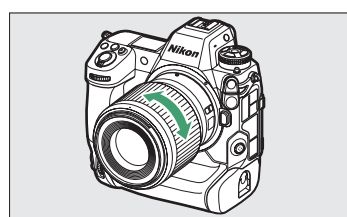
- 例えば [角度 90 度] に設定している場合、リングを 90 度回転させるとピント位置が至近側から無限遠側まで移動します。設定する値が大きいほど細かくピント位置を調整できます。



至近側



無限遠側



- [フォーカスリングの角度設定] に対応していないレンズを装着している場合、[ノンリニア] に固定されます。

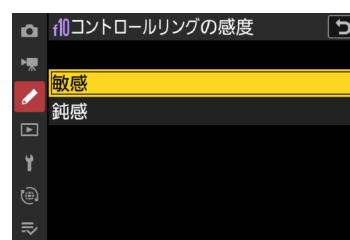
コントロールリングの感度

レンズのコントロールリングに [絞り]、[パワー絞り]、[露出補正]、[ISO 感度] を割り当てている場合の感度を設定できます。

カスタムメニュー f10 [コントロールリングの感度] で [敏感] または [鈍感] に設定できます。

- レンズのコントロールリングに割り当てる機能はカスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

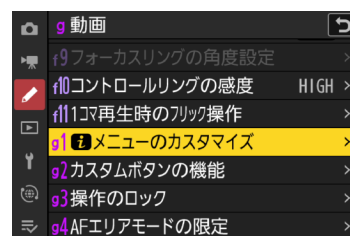


i メニューのカスタマイズ

動画モードで i ボタンを押して表示される i メニューの項目を設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

- 1 カスタムメニュー g1 [i メニューのカスタマイズ] を選んで OK ボタンを押す



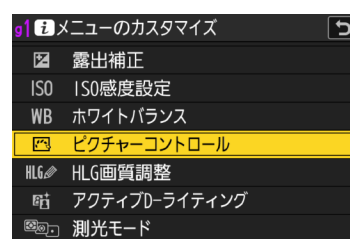
- 2 機能を割り当てたい場所を選んで OK ボタンを押す

- 割り当てられる機能の一覧が表示されます。



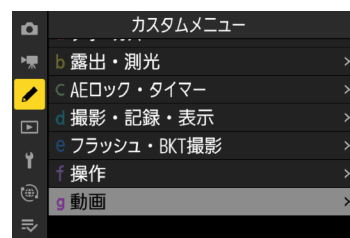
- 3 割り当てたい機能を選んで OK ボタンを押す

- 新しい機能が割り当てられ、手順 2 の画面に戻ります。
- 他の場所にも機能を割り当てたい場合は手順 2、3 を繰り返します。



- 4 MENU ボタンを押す

機能の割り当てが決定してメニュー画面に戻ります。



静止画モードの i メニューについて

静止画モードの i メニューの項目は、カスタムメニュー f1 [i メニューのカスタマイズ] で設定できます。

操作や表示に関する設定

■ i メニューに割り当てられる機能について

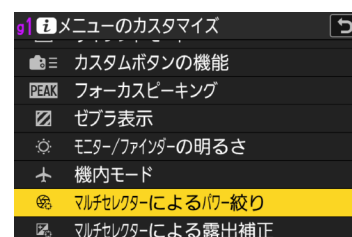
動画モード時の i メニューに割り当てられる機能は次の通りです。

SHOOT	[撮影メニュー切り換え]	🔊	[マイク感度]
CUSTOM	[カスタムメニュー切り換え]	ATT	[アッテネーター]
📐	[撮像範囲設定]	🔊	[録音帯域]
QUAL	[画像サイズ / フレームレート]	🔊	[風切り音低減]
📄	[動画記録先]	🔊	[ヘッドホン音量]
☑	[露出補正]	🔊	[サイレントモード]
ISO	[ISO 感度設定]	📷	[カスタムボタンの機能]
WB	[ホワイトバランス]	PEAK	[フォーカスピーキング]
🖼️	[ピクチャーコントロール]	☑	[ゼブラ表示]
HLG	[HLG 画質調整]	🔊	[モニター / ファインダーの明るさ]
🔊	[アクティブ D- ライティング]	🔊	[機内モード]
📷	[測光モード]	🔊	[マルチセクターによるパワー絞]
AF/MF	[フォーカスモード]	☑	[マルチセクターによる露出補正]
[+] / 📷	[AF エリアモード / 被写体検出]	(RED)	[赤色画面表示]
👉	[手ブレ補正]	📷 info	[動画情報表示] UPDATE
👉	[電子手ブレ補正]		

■ [マルチセクターによるパワー絞]

マルチセクターによるパワー絞りを有効にするかどうかを設定できます。マルチセクターを押して絞りを変更するため、コマンドダイヤルを回すクリック音が記録中の動画に入りません。絞りの動作もスムーズで、絞り値の変更による被写体の写り方の変化も滑らかです。

- 1 カスタムメニュー g1 [i メニューのカスタマイズ] で任意の場所に [マルチセクターによるパワー絞] を割り当てる



- 2 動画モードで i ボタンを押し、[マルチセクターによるパワー絞] を選んで Ⓜ ボタンを押す

- 設定項目が表示されます。
- Ⓜ ボタンを押す前にコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。



- 3 🔄🔄 で設定したい内容を選んで Ⓜ ボタンを押す

- 撮影に戻るには、再度 i ボタンを押ししてください。
- [有効] に設定すると、🔄 を押ししている間、開放絞り側に絞りが動きます。また、🔄 を押ししている間、最小絞り側に絞りが動きます。



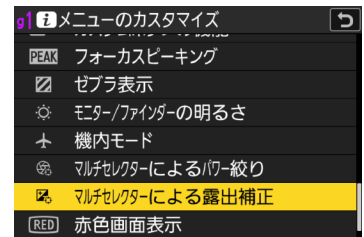
🔔 パワー絞りについて

- 撮影モード A または M のときのみ動作します。
- パワー絞りの動作中は画面にちらつきが発生します。
- パワー絞りはカスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] でカスタムボタンに割り当てられることもできます (☞58)。

■ [マルチセレクターによる露出補正]

マルチセレクターによる露出補正を有効にするかどうかを設定できます。マルチセレクターを押して露出補正の設定を変更するため、コマンドダイヤルを回すクリック音が記録中の動画に入りません。

- 1 カスタムメニュー g1 [i メニューのカスタマイズ] で任意の場所に [マルチセレクターによる露出補正] を割り当てる



- 2 動画モードで i ボタンを押し、[マルチセレクターによる露出補正] を選んで OK ボタンを押す
 - 設定項目が表示されます。
 - OK ボタンを押す前にコマンドダイヤルを回しても設定を変更できます。



- 3 左右で設定したい内容を選んで OK ボタンを押す
 - 撮影に戻るには、再度 i ボタンを押してください。
 - [有効] に設定すると、太陽 または 太陽 を押して露出補正を行えます。

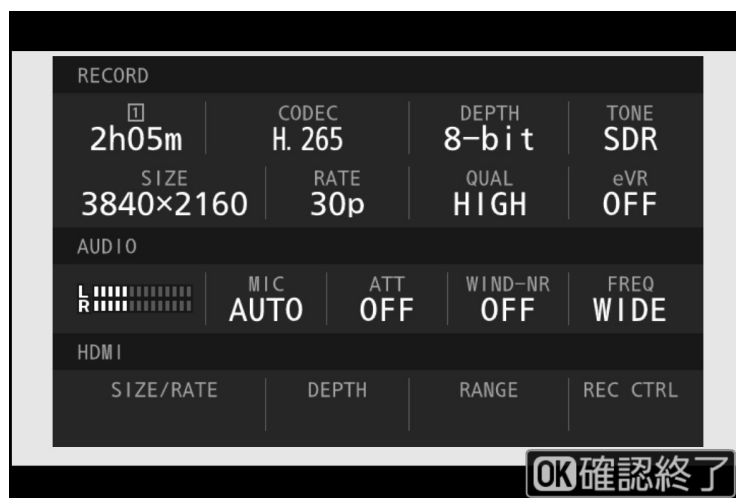


✓ 露出補正について

露出補正はカスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] でカスタムボタンに割り当てることもできます (P58)。

■ [動画情報表示] UPDATE

動画撮影時の各種設定を確認できます。この項目は表示のみで、設定を変更することはできません。



操作や表示に関する設定

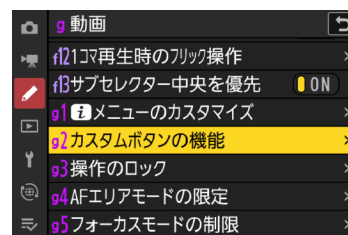
カスタムボタンの機能

このカメラの Fn (ファンクション) などのボタンは、カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で自分の好みの機能を割り当てることが可能です。

i ボタン	✓
各種ボタン	—
メニュー	✓

1 カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] を選んで OK ボタンを押す

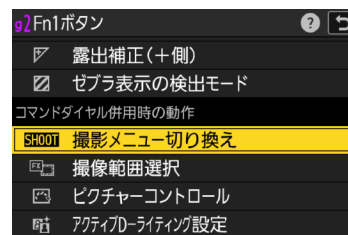
- 機能を割り当てられるボタンを選ぶ画面が表示されます。



2 機能を割り当てたいボタンを選んで OK ボタンを押す



3 割り当てたい機能を選んで OK ボタンを押す



■ 機能を割り当てられるボタンについて

機能を割り当てられるボタンは次の通りです。

	[Fn1 ボタン]
	[Fn2 ボタン]
	[Fn3 ボタン]
	[縦位置 Fn ボタン]
	[フォーカスモードボタン]
	[AF-ON ボタン]
	[プロテクト /Fn4 ボタン]
	[OK ボタン]
	[サブセレクター中央]
	[QUAL ボタン]
	[音声ボタン]

	[縦位置 AF-ON ボタン]
	[縦位置マルチセレクター中央]
	[コマンドダイヤル]
	[シャッターボタン]
	[レンズの Fn2 ボタン]
	[レンズの Fn ボタン]
	[レンズのコントロールリング]
	[レンズの Fn リング (右回し)] UPDATE
	[レンズの Fn リング (左回し)] UPDATE
	[レンズのメモリーセットボタン] UPDATE



■ 各ボタンに割り当てられる機能について

各ボタンに割り当てられる機能は次の通りです。

	Fn1	Fn2	Fn3	Fn	AF-ON	Fn4	OK	QUAL	QUAL	AF-ON	AF-ON	AF-ON	AF-ON	AF-ON	AF-ON	AF-ON	AF-ON	AF-ON	M.SET		
PRE [プリセット フォーカスポイント]	—	—	—	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
RESET [フォーカスポイント 中央リセット]	—	—	—	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—
FOCUS [フォーカス位置の登録] UPDATE	✓	✓	✓	—	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
FOCUS [フォーカス位置の呼び出し] UPDATE	✓	✓	✓	—	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
QUAL [AF-ON]	—	—	—	—	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
FAST AF-ON [AF-ON (高速)] UPDATE	—	—	—	—	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
AF [AF-L]	—	—	—	—	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
AE [AE-L (ホールド)]	—	—	—	✓	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
AWB [AWB-L (ホールド)]	—	—	—	✓	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
AE [AE-L/AWB-L (ホールド)]	—	—	—	✓	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
AE [AE-L]	—	—	—	—	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
AE [AE-L/AF-L]	—	—	—	—	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
S [サイレントモード]	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
OFF [ライブビュー情報表示の 消灯]	✓	✓	✓	✓	—	✓	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[ガイドライン表示]	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	✓	—	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[拡大画面との切り換え]	✓	✓	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[水準器表示]	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	✓	—	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
PEAK [フォーカスピーキング表示]	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[マイメニュー]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[マイメニューの トップ項目へジャンプ]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
RESET [再生]	✓	✓	✓	✓	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[フィルター再生]	✓	✓	✓	✓	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[パワー絞り (開放絞り側)]	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—
[パワー絞り (最小絞り側)]	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—
[露出補正 (+側)]	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—
[露出補正 (-側)]	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—
ISO+ [ISO 感度 (高感度側)] UPDATE	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—
ISO- [ISO 感度 (低感度側)] UPDATE	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓
[ゼブラ表示の検出モード]	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	✓	—	—	✓	✓	—	✓	✓	✓
[動画撮影]	—	—	—	—	✓	✓	—	✓	✓	—	—	✓	✓	—	✓	—	—	—	—	—	—
= [AF-ON ボタンと同じ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—
SHOOT [撮影メニュー切り換え]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
MODE [撮影モード]	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
[撮像範囲選択]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
[ピクチャーコントロール]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
[アクティブ D-ライティング設定]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
[測光モード]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

操作や表示に関する設定

	Fn1	Fn2	Fn3	Fn	AF-ON	Fn4	OK	QUAL	U	AF-ON				L-Fn2	L-Fn		Fn	Fn	M-SET	
AF/AF-L [フォーカスモード / AF エリアモード]	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
LOCK [操作のロック]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイク [マイク感度]	✓	✓	✓	✓	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
M/A [フォーカス (M/A)]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
絞リ [パワー絞リ]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
露出補正 [露出補正]	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
ISO [ISO 感度]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
[露出設定]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—
[フォーカスモード / AF エリアモード設定]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—
[拡大表示中のサブコマンドダイヤル]	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—
[設定しない]	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓	✓

⚠ パワー絞リについて

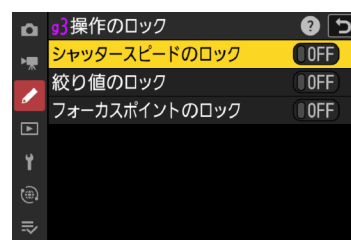
- 撮影モード **A** または **M** のときのみ動作します。
- パワー絞リの動作中は画面にちらつきが発生します。

操作のロック

動画撮影時の露出の設定またはフォーカスポイントをロックできます。

カスタムメニュー g3 [操作のロック] で設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	✓
メニュー	✓



[シャッタースピードのロック]	[ON] に設定すると、撮影モード M ではシャッタースピードを現在の設定でロックします。 ● シャッタースピードをロックすると撮影画面と表示パネルに L アイコンが表示されます。
[絞り値のロック]	[ON] に設定すると、撮影モード A または M では絞り値を現在の設定でロックします。 ● 絞り値をロックすると撮影画面と表示パネルに L アイコンが表示されます。
[フォーカスポイントのロック]	[ON] に設定すると、現在の位置でフォーカスポイントをロックします。 ● AF エリアモードが [オートエリア AF] の場合はロックできません。 ● AF エリアモードが [ターゲット追尾 AF] の場合、被写体を追尾している間は被写体の動きに合わせてフォーカスポイントが移動します。



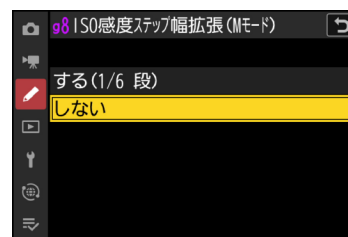
UPDATE! ISO 感度ステップ幅拡張 (M モード)

撮影モード M 時の動画の ISO 感度のステップ幅を変更できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

カスタムメニュー g8 [ISO 感度ステップ幅拡張 (M モード)] で設定できます。[する (1/6 段)] に設定すると、動画の ISO 感度のステップ幅を 1/6 段に変更できます。

- 撮影モード M のみ動画の ISO 感度を設定できます。
- ISO 64 ~ 25600 の間を 1/6 段で設定できます。



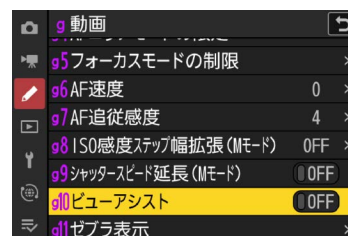
ビューアシスト

動画の階調モードを [HLG] または [N-Log] にしている場合に、カメラの撮影画面を簡易的に階調補正して表示します。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

カスタムメニュー g10 [ビューアシスト] で設定できます。[ON] に設定すると簡易補正された画像が撮影画面に表示されます。

- 実際に記録している動画には影響ありません。
- カメラで HLG 動画または N-Log 動画を再生する場合にも階調補正が適用されます。



ビューアシスト OFF



ビューアシスト ON

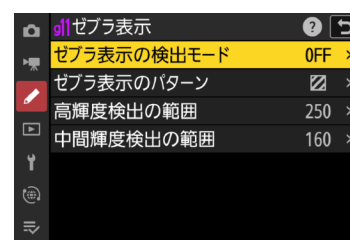
操作や表示に関する設定

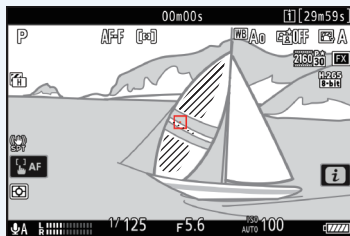
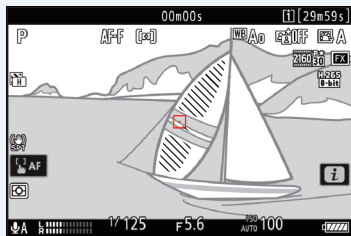




ゼブラ表示

指定した明るさの部分を斜線で表示できます。

i ボタン	✓
各種ボタン	✓
メニュー	✓

カスタムメニュー g11 [ゼブラ表示] で設定できます。



[ゼブラ表示の検出モード]	<p>斜線で表示する明るさの部分を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [高輝度]：撮影画面内の明るい部分をゼブラ表示します。どの部分を高輝度として扱うかは [高輝度検出の範囲] で設定します。 ● [中間輝度]：撮影画面内の中間輝度の部分をゼブラ表示します。どの部分を中間輝度として扱うかは [中間輝度検出の範囲] で設定します。 ● [しない]：ゼブラ表示を行いません。
[ゼブラ表示の表示パターン]	<p>斜線の向きを [パターン 1] または [パターン 2] から選べます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>パターン 1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パターン 2</p> </div> </div>
[高輝度検出の範囲]	<p>[ゼブラ表示の検出モード] で [高輝度] を選んだ場合に、どの程度の明るさから高輝度として扱うかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 輝度は 120 から 255 の間で設定できます。値が小さいほど暗い部分も斜線で表示されます。 ● 255 を選ぶと、白とびする部分だけが斜線表示されます。
[中間輝度検出の範囲]	<p>[ゼブラ表示の検出モード] で [中間輝度] を選んだ場合に、どの程度の明るさの範囲を中間輝度として扱うかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [基準値] を 0 から 255 の間で設定できます。[範囲] で基準値の前後どれだけを中間輝度として含めるかを設定できます。 ●   で項目を切り換え、  で値を変更できます。

⚠ ゼブラ表示についてのご注意

フォーカスモードがマニュアルフォーカスの場合、ゼブラ表示およびフォーカスピーキングの両方を有効にしているとフォーカスピーキングのみ表示されます。マニュアルフォーカス時にゼブラ表示したい場合は、カスタムメニュー a13 [フォーカスピーキング] > [フォーカスピーキング表示] を [OFF] に設定してください。

⚠ カスタムボタンでゼブラ表示を切り換えるには

- ゼブラ表示はカスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で任意のボタンに割り当てられます。[ゼブラ表示の検出モード] を割り当てたボタンを押すと、[高輝度]、[中間輝度]、[しない] の順にゼブラ表示を切り換えます。
- カスタムメニュー g12 [ゼブラ表示の検出モード制限] で、ゼブラ表示を行う輝度の範囲を限定できます。[高輝度] または [中間輝度] に設定してボタンを一度押すと設定した輝度の範囲が斜線表示され、もう一度ボタンを押すと斜線表示が消えます。

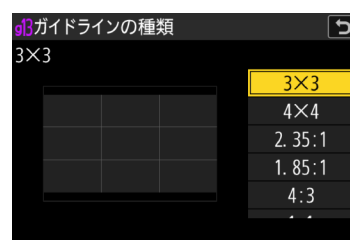
ガイドラインの種類

動画モード時に表示する構図用ガイドラインの種類を選べます。

カスタムメニュー g13 [ガイドラインの種類] で設定できます。ガイドラインは次の場合に表示されます。

- カスタムメニュー g2 [カスタムボタンの機能] で [ガイドライン表示] を割り当てたボタンを押した場合
- カスタムメニュー g15 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)] および g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] で 田 (ガイドライン) をオン にした画面を表示した場合

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



UPDATE 輝度情報の種類

動画モード時に表示する輝度情報の種類を選べます。

カスタムメニュー g14 [輝度情報の種類] で設定できます。輝度情報はカスタムメニュー g15 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)] および g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] で 山 (輝度情報) をオン にした画面を表示した場合に表示されます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



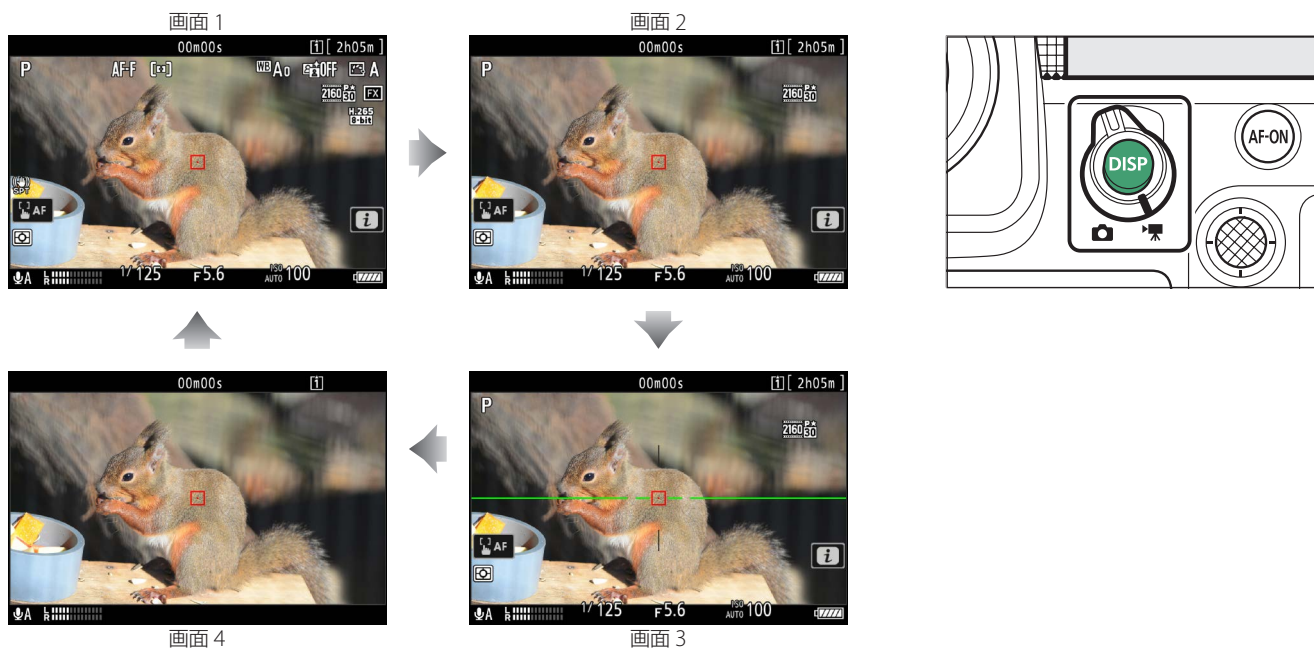
[ヒストグラム]	RGB ヒストグラムを表示します。	
[ウェーブフォームモニター]	ウェーブフォームモニターを表示します。表示するサイズを選べます。	
[ウェーブフォームモニター大]		

操作や表示に関する設定

撮影画面カスタマイズ

動画モード時に DISP ボタンを押して撮影画面に表示する画面を設定できます。それぞれの画面に表示する情報を自分好みにカスタマイズでき、状況に応じて使い分けられます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



カスタムメニュー g15 [撮影画面カスタマイズ (画像モニター)] で画像モニター、g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] でファインダーに表示できる画面の設定を行います。

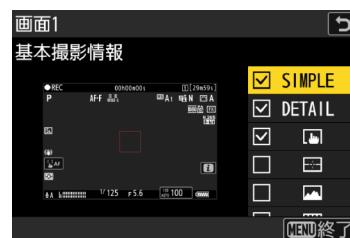
- [画面 2] ~ [画面 4] (g16 は [画面 2] ~ [画面 3]) を選んで **OK** ボタンを押すと、オン とオフ を切り換えられます。撮影時に **DISP** ボタンを押すと撮影画面が切り換わり、チェックボックスをオン にした画面のみ表示されます。[画面 1] はオフ にすることはできません。



■ 画面に表示する項目について

[画面 1] ~ [画面 4] (g16 は [画面 1] ~ [画面 3]) を選んでマルチセクターの **▶** を押すと、その画面に表示する項目を設定できます。表示したい項目を選んで **OK** ボタンを押すと、オン とオフ を切り換えられます。

- **MENU** ボタンを押すと、設定を完了します。



SIMPLE [基本撮影情報]	撮影モードやシャッタースピード、絞り値などの設定を表示します。
DETAIL [詳細撮影情報]	フォーカスモードや AF エリアモード、ホワイトバランスなどの設定を表示します。
[タッチ]	タッチ AF や i メニューなど、画像モニターをタッチして設定を変更できる項目を表示します。 ● g16 [撮影画面カスタマイズ (ファインダー)] では設定できません。
[水準器]	水準器を表示します。水準器の種類はカスタムメニュー d17 [水準器の種類] で設定できます。
[輝度情報] UPDATE	RGB ヒストグラムまたはウェーブフォームモニターを表示します。
[ガイドライン]	構図用ガイドラインを表示します。
[センターマーカー]	撮影画面の中央を示す十字線を表示します。

■ 輝度情報について **UPDATE**

[輝度情報] をオン に設定すると、撮影画面に輝度情報が表示されます。輝度情報の種類はカスタムメニュー g14 [輝度情報の種類] で設定できます (☞63)。



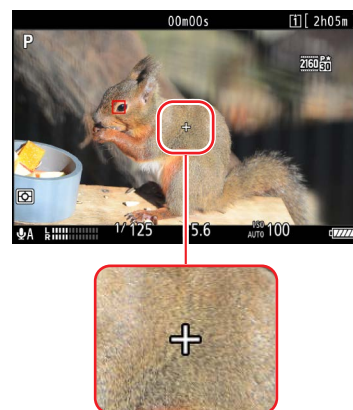
■ ガイドラインについて

[ガイドライン] をオン に設定すると、撮影画面に構図用ガイドラインが表示されます。ガイドラインの種類はカスタムメニュー g13 [ガイドラインの種類] で設定できます (☞63)。



■ センターマーカーについて

[センターマーカー] をオン に設定すると、撮影画面に中央を示す十字線が表示されます。

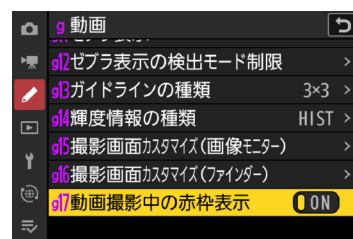


UPDATE 動画撮影中の赤枠表示

動画記録時に表示される撮影画面周囲の赤枠表示を切り換えられます。

カスタムメニュー g17 [動画撮影中の赤枠表示] で設定できます。[ON] に設定して赤枠を表示すると動画記録中であることが判別しやすく、記録ミスを防げます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



操作や表示に関する設定

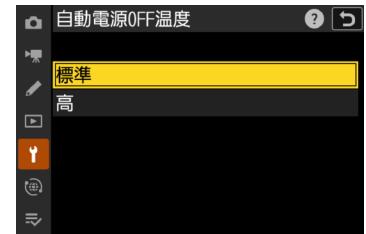
UPDATE! 自動電源 OFF 温度

カメラ内部の温度上昇時に、カメラの電源が自動的にオフなるまでの温度を [標準] または [高] で設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓

セットアップメニュー [自動電源 OFF 温度] で設定できます。

- [標準] に設定した場合、カメラ内部の温度が上昇するに従って 10、20 アイコンが表示され、さらに温度が上昇するとカウントダウンが表示されます。
- [高] に設定した場合、カメラ内部の温度が上昇するに従って 10、20、30^{HIGH} アイコンが表示され、さらに温度が上昇するとカウントダウンが表示されます。
- カウントダウンが 0 になると撮影画面の表示が消灯し、記録中の動画を保存してカメラの電源が自動的にオフになります。



🚨 【自動電源 OFF 温度】を [高] に設定した場合のご注意

[高] に設定すると撮影ができなくなるまでの時間を長くすることができますが、カメラ本体が高温になります。このため、三脚などのご使用をおすすめします。

🚨 カメラが高温になった場合のご注意

- [高] に設定しても、撮影条件によってはすぐにカウントダウンが始まる場合があります。
- カメラが高温になると、画質が低下する場合があります。
- カメラが高温になった場合、カメラ内のメモリーカードも高温になる場合があります。その場合はメモリーカードをすぐに取り出そうとせず、温度が下がるまでお待ちください。

モニターモード

i ボタン	—
各種ボタン	✓
メニュー	—

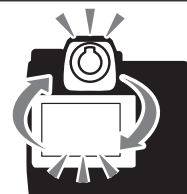
[**OK**] (モニターモード切り換え) ボタンを押すと、ファインダーと画像モニターの表示設定を切り換えることができます。モニターモードは使用するものだけに限定することもできます。

[**OK**] ボタンを押すたびに、次の順にモニターモードが切り替わります。

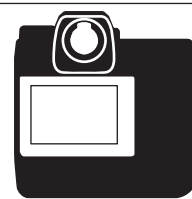


[**自動表示切り換え**]：アイセンサーにより、ファインダーの表示と画像モニターの表示が自動的に切り替わります。

- 動画モードで画像モニターの角度を変更している場合、アイセンサーに顔を近づけてもファインダー表示には切り替わりません。



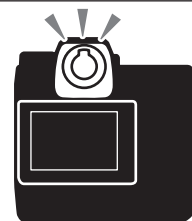
[**ファインダーのみ**]：画像モニターには何も表示されなくなります。メニューの設定や撮影した画像の確認なども全てファインダーで行ってください。



[**モニターのみ**]：画像モニターのみを使用して撮影や設定をする場合に選びます。ファインダーに顔を近づけてもファインダーには何も表示されません。

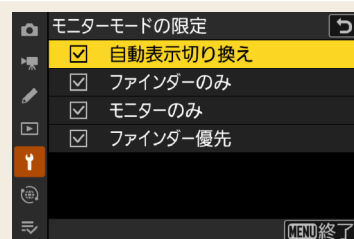


[**ファインダー優先**]：静止画モードの場合、ファインダーに顔を近づけるとファインダーに撮影画面が表示されますが、顔を離しても画像モニターには撮影画面は表示されません。動画モードの場合は [**自動表示切り換え**] と同じ動作になります。



🔔 使用するモニターモードを限定する

セットアップメニュー [**モニターモードの限定**] で表示設定を限定できます。項目を選んで **OK** ボタンを押すかマルチセレクターの **OK** を押すと、オン とオフ を切り換えられます。チェックボックスをオン にした項目のみ選べるようになります。

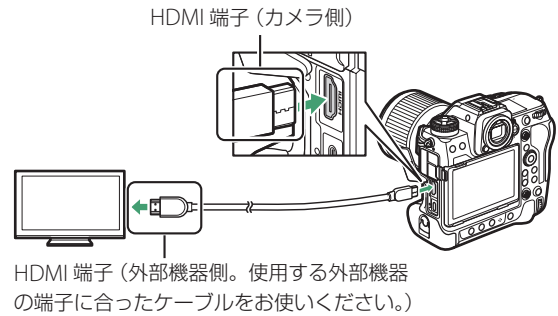


外部機器への HDMI 出力に関する設定

HDMI に対応した外部レコーダー接続に接続すると、HDMI 機器に直接録画できます。

外部レコーダーに接続するには、市販の HDMI 端子用ケーブル (Type A) が必要です。別途お買い求めください。HDMI ケーブルを抜き差しするときは、必ずカメラの電源を OFF にしてください。

- 外部レコーダー接続時にカメラにメモリーカードを挿入している場合、動画は外部レコーダーとメモリーカード両方に記録されます。メモリーカードを挿入していない場合、外部レコーダーのみに記録されます。

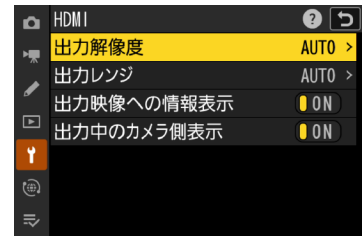


HDMI

カメラを HDMI 対応機器と接続したときの設定を変更できます。

セットアップメニュー [HDMI] で設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓



■ HDMI 外部機器接続時の設定項目

[出力解像度]	HDMI 対応機器への出力解像度を [オート]、[4320p (プログレッシブ)]、[2160p (プログレッシブ)]、[1080p (プログレッシブ)]、[1080i (インターレース)]、[720p (プログレッシブ)] から選べます。 ● RAW 動画撮影時は、出力解像度は [出力解像度] の設定にかかわらず最大 1920 × 1080 になります。
[出力レンジ]	ビデオ信号の色階調の入力範囲 (RGB レンジ) は、HDMI 対応機器によって異なります。通常は、HDMI 対応機器に合わせて自動で出力レンジを切り換える [オート] をお使いください。HDMI 対応機器の RGB レンジを識別できない場合は、次のいずれかを選んでください。 ● [リミテッドレンジ]：RGB レンジが 16 ~ 235 の機器に適しています。画面で黒色がつぶれて表示される場合に選びます。 ● [フルレンジ]：RGB レンジが 0 ~ 255 の機器に適しています。黒色が明るく表示されたり、薄く表示されたりする場合に選びます。
[出力映像への情報表示]	HDMI 対応機器に撮影情報を表示するかどうかを設定します。[ON] に設定して外部レコーダーで動画を記録した場合、アイコンなどの撮影情報も一緒に記録されます。
[出力中のカメラ側表示]	HDMI 対応機器との接続時に、カメラの撮影画面を表示させるかどうかを設定します。 ● [OFF] に設定すると撮影画面が表示されないため、カメラのバッテリーの消費を抑えられます。 ● [出力映像への情報表示] が [OFF] の場合、[出力中のカメラ側表示] の設定は [ON] 固定になります。

外部機器への HDMI 出力に関する設定

■ 出力解像度を [オート] に設定している場合

- セットアップメニュー [HDMI] > [出力解像度] を [オート] に設定すると、カメラが設定している画像サイズおよびフレームレートに外部レコーダーが対応しているかどうかを自動的に検出します。対応していない場合、カメラは次の表の順に外部レコーダーが対応している解像度 / フレームレートを探して出力します。いずれの解像度 / フレームレートにも外部レコーダーが対応していない場合、何も出力されません。
- 外部レコーダーに出力するときに対応する解像度とフレームレートの順番は次の通りです。

画像サイズ / フレームレート	外部レコーダーに出力される解像度 / フレームレートの順番	
	カメラにメモリーカードが入っていない場合	カメラにメモリーカードが入っている場合
[7680 × 4320 30p]	4320/30p → 2160/30p → 1080/30p	1080/30p
[7680 × 4320 25p]	4320/25p → 2160/25p → 1080/25p	1080/25p
[7680 × 4320 24p]	4320/24p → 2160/24p → 1080/24p	1080/24p
[3840 × 2160 120p]	2160/120p → 1080/120p → 2160/60p → 1080/60p → 2160/30p → 1080/30p	1080/60p → 1080/30p
[3840 × 2160 100p]	2160/100p → 1080/100p → 2160/50p → 1080/50p → 2160/25p → 1080/25p	1080/50p → 1080/25p
[3840 × 2160 60p]	2160/60p → 1080/60p → 2160/30p → 1080/30p	2160/60p → 1080/60p → 2160/30p → 1080/30p
[3840 × 2160 50p]	2160/50p → 1080/50p → 2160/25p → 1080/25p	2160/50p → 1080/50p → 2160/25p → 1080/25p
[3840 × 2160 30p]	2160/30p → 1080/30p	2160/30p → 1080/30p
[3840 × 2160 25p]	2160/25p → 1080/25p	2160/25p → 1080/25p
[3840 × 2160 24p]	2160/24p → 1080/24p	2160/24p → 1080/24p
[1920 × 1080 120p]	1080/120p → 1080/60p → 1080/30p	1080/120p → 1080/60p → 1080/30p
[1920 × 1080 100p]	1080/100p → 1080/50p → 1080/25p	1080/100p → 1080/50p → 1080/25p
[1920 × 1080 60p]	1080/60p → 1080/30p	1080/60p → 1080/30p
[1920 × 1080 50p]	1080/50p → 1080/25p	1080/50p → 1080/25p
[1920 × 1080 30p]	1080/30p	1080/30p
[1920 × 1080 25p]	1080/25p	1080/25p
[1920 × 1080 24p]	1080/24p	1080/24p

- 外部レコーダーが対応していても 1080i では出力されません。インターレース方式で出力したい場合は [1080i (インターレース)] に設定してください。

外部機器への HDMI 出力に関する設定

■ 出力解像度を [オート] 以外に設定している場合

設定した出力解像度で外部レコーダーに出力されます。

画像サイズ / フレームレート	外部レコーダーに出力される解像度 / フレームレートの順番				
	4320p (プログレッシブ)	2160p (プログレッシブ)	1080p (プログレッシブ)	1080i (インターレース)	720p (プログレッシブ)
[7680 × 4320 30p]	4320/30p	2160/30p	1080/30p	1080/60i	720/60p
[7680 × 4320 25p]	4320/25p	2160/25p	1080/25p	1080/50i	720/50p
[7680 × 4320 24p]	4320/24p	2160/24p	1080/24p	1080/60i	720/60p
[3840 × 2160 120p]	—	2160/120p → 2160/60p → 2160/30p*	1080/120p → 1080/60p → 1080/30p*	1080/60i	720/60p
[3840 × 2160 100p]	—	2160/100p → 2160/50p → 2160/25p*	1080/100p → 1080/50p → 1080/25p*	1080/50i	720/50p
[3840 × 2160 60p]	—	2160/60p → 2160/30p*	1080/60p → 1080/30p*	1080/60i	720/60p
[3840 × 2160 50p]	—	2160/50p → 2160/25p*	1080/50p → 1080/25p*	1080/50i	720/50p
[3840 × 2160 30p]	—	2160/30p	1080/30p	1080/60i	720/60p
[3840 × 2160 25p]	—	2160/25p	1080/25p	1080/50i	720/50p
[3840 × 2160 24p]	—	2160/24p	1080/24p	1080/60i	720/60p
[1920 × 1080 120p]	—	—	1080/120p → 1080/60p → 1080/30p*	1080/60i	720/60p
[1920 × 1080 100p]	—	—	1080/100p → 1080/50p → 1080/25p*	1080/50i	720/50p
[1920 × 1080 60p]	—	—	1080/60p → 1080/30p*	1080/60i	720/60p
[1920 × 1080 50p]	—	—	1080/50p → 1080/25p*	1080/50i	720/50p
[1920 × 1080 30p]	—	—	1080/30p	1080/60i	720/60p
[1920 × 1080 25p]	—	—	1080/25p	1080/50i	720/50p
[1920 × 1080 24p]	—	—	1080/24p	1080/60i	720/60p

※ 撮影する動画のフレームレートを 120p、100p、60p、50p に設定している場合、外部レコーダーが設定しているフレームレートに対応していないときはフレームレートを変更して出力します。

🚨 出力解像度を [オート] 以外に設定している場合のご注意

次の場合は HDMI 出力されません。

- 撮影する動画の画像サイズよりも高い出力解像度を選んでいる場合
- 設定した出力解像度に外部レコーダーが対応していない場合

🚨 出力解像度を [4320p (プログレッシブ)] または [2160p (プログレッシブ)] に設定している場合のご注意

動画の画像サイズを 7680 × 4320 または画像サイズ / フレームレートを 3840 × 2160 120p、3840 × 2160 100p に設定している場合に、カメラにメモリーカードが入っていると HDMI 出力されません。外部レコーダーに記録する場合、メモリーカードを取り出してください。

外部機器への HDMI 出力に関する設定

■ HDMI 外部機器接続時の YCbCr および出力ビット数について

動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] や [画像サイズ/フレームレート] の設定によって外部機器に出力される YCbCr およびビット数が次のようになります。

動画記録ファイル形式	画像サイズ/フレームレート	YCbCr および出力ビット数
N-RAW 12-bit (NEV)	8256 × 4644	● 動画記録中または動画記録待機中：4:2:2 10-bit ● 動画再生中：4:2:2 8-bit
	4128 × 2322	
	5392 × 3032	
	3840 × 2160	
ProRes RAW HQ 12-bit (MOV)	4128 × 2322	● 動画記録中または動画記録待機中：4:2:2 10-bit ● 動画再生中：4:2:2 8-bit
	5392 × 3032	
	3840 × 2160	
ProRes 422 HQ 10-bit (MOV)	3840 × 2160	4:2:2 10-bit
	1920 × 1080	
H.265 10-bit (MOV)	7680 × 4320	4:2:0 10-bit
	3840 × 2160 120p/100p	
	3840 × 2160 60p/50p/30p/25p/24p	4:2:2 10-bit
	1920 × 1080	
H.265 8-bit (MOV)	7680 × 4320	4:2:0 8-bit
	3840 × 2160 120p/100p	
	3840 × 2160 60p/50p/30p/25p/24p	4:2:2 8-bit
	1920 × 1080	
H.264 8-bit (MP4)	1920 × 1080	4:2:2 8-bit

🔗 10 ビットの外部レコーダーへの伝送について

接続している外部レコーダーが 10 ビットに対応している場合のみ、10 ビットでの伝送が可能です。

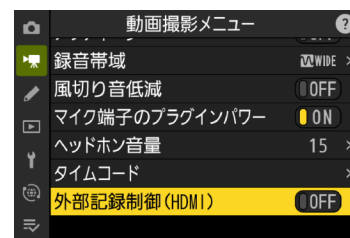
外部機器への HDMI 出力に関する設定

外部記録制御 (HDMI)

カメラ側の操作に連動して外部レコーダーの録画の開始および終了をするかどうかを設定できます。

i ボタン	—
各種ボタン	—
メニュー	✓





















動画撮影メニュー [外部記録制御 (HDMI)] で設定できます。



- お使いの外部レコーダーが対応しているかどうかは、外部レコーダーのメーカーにお問い合わせください。
- カスタムメニュー c3 [パワーオフ時間] > [半押しタイマー] で設定した時間が経過すると、撮影画面が自動的に消灯して外部レコーダーにも映像が送られなくなります。[半押しタイマー] の設定は、動画を撮影する時間よりも長い時間を設定するか、[制限なし] にすることをおすすめします。
- [ON] に設定すると、カメラの撮影画面にアイコン（動画記録待機中：STBY、動画記録中：REC）が表示されます。動画を記録するときは、外部レコーダーの表示や、外部レコーダーで動画が記録されていることをご確認ください。
- [ON] に設定すると、テレビなどに外部出力している場合に画像が乱れることがあります。

動画再生時の操作方法

動画再生時の操作方法は次の通りです。

一時停止する	マルチセレクターの  を押すと一時停止します。
再生を再開する	一時停止中または早戻し / 早送り中に  ボタンを押すと動画再生を再開します。
早戻しする / 早送りする	動画の再生中に  を押すと早戻し、  を押すと早送ります。同じ方向のボタンを押すごとに、早戻し / 早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。
スロー再生する	一時停止中に  を押すとスロー再生します。
コマ戻しする / コマ送りする	<ul style="list-style-type: none"> 一時停止中に   を押すと、コマ戻し / コマ送ります。   を押し続けると連続でコマ戻し / コマ送ります。
10秒進める / 10秒戻す	サブコマンドダイヤルを回すと、10秒前または後に移動します。
10フレーム進める / 10フレーム戻す	メインコマンドダイヤルを回すと、10フレーム前または後に移動します。
先頭フレームに移動する / 最終フレームに移動する	<ul style="list-style-type: none">  を押し続けると、先頭フレームに移動し、 を押し続けると、最終フレームに移動します。 先頭フレームには  アイコンが、最終フレームには  アイコンが、画面右上に表示されます。
拡大表示する	一時停止中に  ボタンを押すと拡大表示します。
音量を調節する	 ボタンを押すと音量が大きくなり、  (?) ボタンを押すと小さくなります。
動画を編集する	一時停止中に  ボタンを押すと、動画再生の  メニュー画面を表示します。
再生終了	 または  ボタンを押すと1コマ表示モードに戻ります。
撮影に戻る	シャッターボタンを半押しすると、再生を終了します。

コマンドダイヤルを使用した操作方法

動画再生時にコマンドダイヤルを使用すると秒送りやフレームで移動できます。

■ 10秒進める / 10秒戻す

サブコマンドダイヤルを1クリック回すと、10秒前または後に移動します。

■ 10フレーム進める / 10フレーム戻す

メインコマンドダイヤルを1クリック回すと、10フレーム前または後に移動します。撮影した動画を細かく確認したい場合に便利です。

■ 動画再生時のメインコマンドダイヤル / サブコマンドダイヤルの設定について

動画再生中にコマンドダイヤルを回したときのコマ送りを設定できます。

カスタムメニュー f3 [カスタムボタンの機能 (再生)] > [メインコマンドダイヤル] および [サブコマンドダイヤル] の [動画再生] で設定できます。



[1 フレーム]	1 フレームずつコマ戻し / コマ送ります。
[5 フレーム]	5 フレームずつコマ戻し / コマ送ります。
[10 フレーム]	10 フレームずつコマ戻し / コマ送ります。
[2 秒]	2 秒前または後に移動します。
[5 秒]	2 秒前または後に移動します。
[10 秒]	2 秒前または後に移動します。
[先頭 / 最終フレーム]	先頭フレームまたは最終フレームに移動します。

動画からの静止画切り出し

撮影した動画のフレームを静止画として保存できます。1 フレームずつ保存する方法と、設定した起点から指定した秒数分のフレームを一度に保存する方法があります。




動画撮影メニュー [動画記録ファイル形式] を [H.265 8-bit (MOV)] または [H.264 8-bit (MP4)] に設定して撮影した動画で静止画を切り出せます。

1 フレームずつ保存する

1 コマ表示モードで編集したい動画を表示する

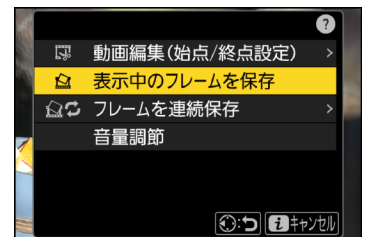


2 保存したい位置で動画を一時停止する

- 動画の再生中にマルチセレクターの  を押しと、一時停止します。
- プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます。
-   やコマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。



3 ボタンを押し、[表示中のフレームを保存] を選んで ボタンを押す



【表示中のフレームを保存】で作成した画像について

- 動画撮影メニュー [画像サイズ/フレームレート] で設定した画像サイズで記録されます。
- 画像編集はできません。

UPDATE! 指定した秒数分のフレームを保存する

1 コマ表示モードで編集したい動画を表示する

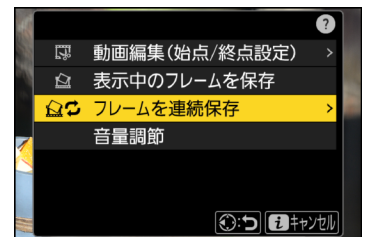


2 保存したい位置で動画を一時停止する

- 動画の再生中にマルチセレクターの を押すと、一時停止します。
- プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます。
- やコマンドダイヤルで再生中の位置を調整できます。

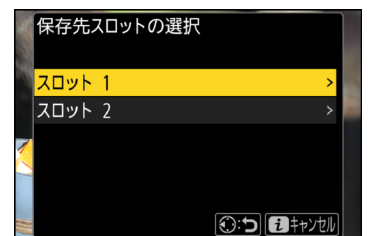


3 **i** ボタンを押し、[フレームを連続保存] を選んで を押す



4 保存先のスロットを選ぶ

- 静止画を保存するスロットを選びます。
- でスロットを選び、 ボタンを押します。
- メモリーカードが1枚しか入っていない場合はスロットを選べません。



5 保存する時間を選ぶ

- 現在のコマから何秒間分のフレームを切り出すかを設定できます。



6 ボタンを押す

- JPEG の画像が保存されます。保存される静止画の枚数は動画のフレームレートにより異なります。

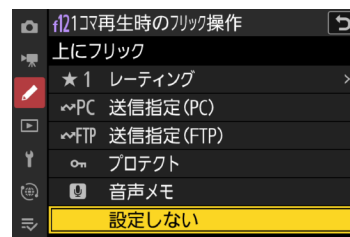
! [フレームを連続保存] で作成した画像について

- 動画撮影メニュー [画像サイズ / フレームレート] で設定した画像サイズで記録されます。
- 画像編集はできません。

1 コマ再生時のフリック操作

1 コマ表示時に画像モニターを上下にフリックした場合の動作を割り当てられます。

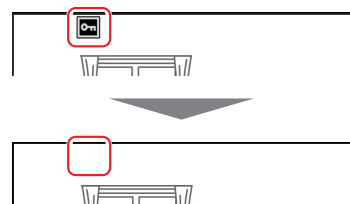
カスタムメニュー f12 [1 コマ再生時のフリック操作] の [上にフリック] または [下にフリック] で画像モニターを上または下にフリックした場合の動作を設定できます。



■ 上にフリック / 下にフリックの設定項目

★ [レーティング]	画像にレーティングを設定できます。 <ul style="list-style-type: none">マルチセクターの を押すと、フリック時に画像に付ける ★ の数を設定できます。☒ (削除候補) または ★1 ~ 5 の範囲から選べます。[上にフリック] と [下にフリック] で異なるレーティングを設定しておけば、画像のレーティング設定が素早く行えます。
PC [送信指定 (PC)]	パソコンへ送信する画像に優先送信設定マークを付加します。
FTP [送信指定 (FTP)]	FTP サーバーへ送信する画像に優先送信設定マークを付加します。
🔒 [プロテクト]	画像をプロテクト (保護) します。
🗣️ [音声メモ]	音声メモの録音 / 再生を行います。動画には音声メモは録音できません。
[設定しない]	画像モニターを上下にフリックしても機能しません。

- 画像を表示して上または下にフリックすると、設定した内容に合わせてアイコンが表示されます。もう一度同じ方向にフリックすると、設定した内容をキャンセルして元に戻ります。



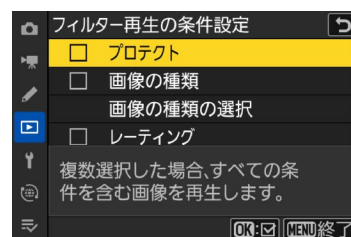
📌 上にフリックおよび下にフリックの設定について

[送信指定 (PC)] および [送信指定 (FTP)] を割り当てた場合、カメラがパソコンおよび FTP サーバーに接続しているときに優先送信設定マークを付加できます。

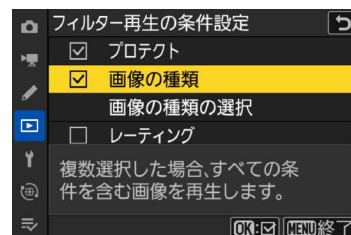
フィルター再生

[フィルター再生の条件設定] で設定した条件で画像を絞り込んで再生できます。

- 1 再生画面で **i** ボタンを押し、[フィルター再生の条件設定] を選んで **⏪** を押す
 - 設定項目が表示されます。



- 2 フィルター再生したい画像の条件を **⏪**/**⏩** で選ぶ
 - **⊗** ボタンを押すとオン とオフ を切り換えられます。
 - フィルター再生時は、[フィルター再生の条件設定] でオン にした項目に全て当てはまる画像が表示されます。
 - 再生メニュー [フィルター再生の条件設定] でも設定できます。



- 3 MENU ボタンを押し、[フィルター再生] を選ぶ

- フィルター再生時は、撮影画面の周りに白枠が表示されます。
- もう一度 [フィルター再生] を選ぶとフィルター再生を解除します。




■ フィルター再生の条件設定の設定項目

[プロテクト]	オン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、プロテクトされた画像を再生対象にします。
[画像の種類]	オン <input checked="" type="checkbox"/> にした画像の種類を再生対象にします。
[レーティング]	オン <input checked="" type="checkbox"/> にしたレーティングの画像を再生対象にします。
[送信指定 (PC)]	● [送信済みの画像] をオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、接続しているパソコンまたは FTP サーバーに送信済みの画像を再生対象にします。
[送信指定 (FTP)]	● [未送信の画像] をオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると未送信の画像を再生対象にします。 ● 両方をオン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、送信指定した全ての画像が再生対象になります。
[音声メモ]	オン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、音声メモが録音された画像を再生対象にします。
[画像編集済み]	オン <input checked="" type="checkbox"/> にすると、画像編集を行った画像を再生対象にします。

トラブルシューティング

記録時に発生しやすい現象について

- 動画撮影時の撮影画面の表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 動きのある被写体が歪む（電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む／カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む）
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光されたり、イルミネーションなどの点滅する光源がある場合、画面の一部が明るくなったり、明るい横帯が発生する
 - 動画記録時のパワー絞りを作動中、画面にちらつきが発生する
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」が発生する場合があります。その場合、動画撮影メニュー **〔動画フリッカー低減〕**（[P.40](#)）の設定を変更すると、フリッカー現象を軽減できます。被写体が非常に明るい場合、フリッカー低減効果が得られない場合があります。絞りを絞り込んで（より大きい数値にして）ください。
- 撮影画面を  ボタンで拡大表示した場合、ノイズ（ざらつき、むら、すじ）、色の変化が目立ちやすくなります。

撮影中の動画の保存について

- 次のような場合は、撮影中の動画を保存して動画記録を自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達したとき
 - 撮影モードを変更したとき
 - 静止画 / 動画セレクターを切り換えたとき
 - レンズを取り外したとき
 - カメラの内部温度が上昇したとき
- 動画撮影中にバッテリーを抜いた場合、撮影中の動画は保存されません。